第四千六百十一號　THE KEIJO NIPPO　大正八年五月一日（木曜日）　（大正八年九月十八日第三種郵便物認可）　（平中無休刊）

京城日報

四月三十日夕刊（四頁）

◇講和會議總會
—日佛兩國修正案附議—

講和會議總會は二十六日開會し規約に修正を加へたる國際聯盟規約並に戰爭責任者調査委員の報告に對し講和會議の承認を求むべく尚國際聯盟加入國民の平等を要求する日本の修正案及び國際聯盟の軍事的規定に關する佛國の修正案は恐らく二十六日の總會議に於ける議題として現はるゝならん（巴里電報）

◇内田外相訓電
肩く退去せよ
山東問題＝我主張容れられずば＝某消息通談

二十七日夜内田外相は牧野全權委員に宛て山東問題に關する日本の主張にして若し完全に容れられざるに於ては日本は講和會議の會場より肩く退去すべしとの訓電を發し同外相の强硬なる態度も之に依りて略察せらるべきが右に關し某消息通は語る山東問題の紛糾するや西園寺牧野珍田の三委員はクレマンソー氏を佛國陸軍省に訪ひて諒解を求め次に伊國首相を訪ひ更に珍田牧野二委員はウイルソン氏を訪問して會見長時間に及べり其の際牧野委員はウイルソン氏に對し青島に關する日支條約が自由且つ公正に結ばれたるを說き日本は五大國の一として審判者たり指導者たるの位置にありと主張し一轉して支那に東洋の民族を壓迫したるは日本に非ずして某々國なり右に關しては列國と支那との間に締結せられたる過去五十年間の諸條約を一覽せらるゝを可とすと懸命に突込みしが其の時ウイルソン氏は思はず手にせる葉卷を取落したりとのことなり牧野男は更に日本の高遠なる理想を說き最後に問題の成行に依つては日本は講和條約に調印せずとの決心のあるところを仄かして引取りたるが更に外務省に向ひ『然るべく』の意味に就て更に的確なる訓電を求めたるが是に對する外相の返電が叙上の退去云々の訓電ならん（東京特電）

◇今後の形勢如何
米國態度依然＝三國の沈默

珍田委員は二十二日朝山東問題に關しウイルソン氏と會見せるが何等決定的結果を見るに至らず英、佛、伊三國は千九百十八年の默契に依り日本の主張を支持し沈默を守り居るが如くなるも米國の態度は依然たり國務卿ランシング氏は國際公法に依り敵國との凡ゆる條約は宣戰に依りて消滅せりとなしこれを山東問題にも適用すべく希望し居れるより目下尙ほ樂觀を許さず（巴里電報）

◇最後の解決點
日本の立場良好か
英國外相の通告

牧野男及び珍田子は廿六日英國外相を訪問したるが席上英外相は山東問題の圓滿なる解決を欲する三國首腦會議の希望を通告する所ありたるが右に對し牧野、珍田兩委員は日本の要求を總述して退去せり右會見の結果今日迄意見の一致を見ざりし三國首腦は最後の解決點を見出す可きが山東問題の最終會議には日本講和委員出席の筈なり在巴里某日本外交家は山東問題の經過は至つて順調にて講和會議の形勢は日本の立場に良好なる變化を齎らし居れりと語れり（巴里電報）

◇協定果して滿足か
我委員青島問題解決を急ぐ

日本講和委員は獨逸全權委員到着迄に青島問題の解決を迫りつゝあり日本の主張は青島を一旦日本に讓與し日本は一定條件の下に更めて支那に還附すべしと言ふにあり首腦會議は廿二日之に就き討議せるが何等面倒なく日本に滿足なる協定を爲したるものゝ如し（巴里電報）

◇青島問題と支那

錢總理は山東省代表者の往訪に說明して曰く青島は五大國の手に一旦回收し然る後支那に還附を受くべきものなり右に就き支那政府は講和會議に於て支那委員をして極力爭せしめ最初の目的を貫徹すべく訓電せりと（北京電報）

◇軍備擴張電請

張巡閱使は北邊防備の爲め尙多數の軍隊出動の要ありとし又西南雲貴方面に於ては既に多數の軍隊を派遣し爲めに從來の三師五旅を以てしては到底用を充すに足らずとし事情を詳細に具し督軍兼省長に對し懇請する處ありたり（奉天特電）

◇北邊防備と增兵

張巡閱使は曩に北邊防備の爲め孫烈臣氏をして部下一混成旅を率ゐ北上せしめしが尙ほ增遣の要あり將來其の準備を進めつゝありしが愈々計畫成り第三師出動と同時に第三混成旅長鄒殿昇氏をして其途に就かしむ可く決定し二十八日出動準備命令を發せり（奉天特電）

◇鮑督軍の募兵

鮑黑龍江督軍は北邊防備上軍備充實の必要ありとし奉天省內にて混成一旅を募集す可く旣に募集員を派遣し各所に募集廣告を貼附し目下盛んに募集中なり（奉天特電）

◇張督軍銀行設立計畫

張奉天督軍は奉天省財政の基礎鞏固ならざると一般の金融紊亂せるとは日本の資金盛んに滿蒙に向ひ放下されつゝあるとに鑑み之が救濟防禦の手段を執る可く決心せるもの如く省議會並に商務總會をして漸次之れを實行せしむ可く兼策し都部金融の調節產業の奬勵及び利源の開拓等に名を藉り外資を輸入し一大銀行を設立す可き計畫を樹つるものゝ如く其資本團として張氏の胸中に畫がける者は曾て支店開設を標榜せる米國資本團にあるもの如しと（奉天特電）

◇留回收機關

オムスク政府はハルビン及び浦鹽に於けるケレンスキー札回收の機關として露亞銀行を指定したり（ハルビン電報）

◇歐航運賃問題

日本郵船の受命せる歐洲航路は從來九十志片なりし運賃の減價を百二十志に引上げ方を遞信省に申出中なりしがその後百三十志を唱へし各國の歐洲航路運賃も百志臺に引下げたるを以て右申請は却下さるべしと（東京電報）

◇鐵道院制服改正

鐵道院にては近く制服規定を改正し現在の帶劍、肩章等を廢止すべく三十日の會議にて決定不日實行すべしと（東京特電）

◇九州管理局改稱
關釜連絡船管轄

今回鐵道院管理局變更の結果九州鐵道管理局は從來の外山陽線三原以西下關間及び其中間各支線關釜間門各連絡船を管下に加へらるゝことゝなり從つて五月一日より現在の九州管理局は門司管理局と名稱を改め同局運輸課內に船舶課を設せらるゝことゝなるべし（下關電報）

◇政友大會延期

政友會九州大會は來る五月十日福岡に開催の豫定なりしも十三日に延期せられたるが目下時局多忙の爲め遂て同大會に出席の筈なりし九州出身各大臣も此際東京を離れ難き事情あるを以て當分開催を見合すことに決定せり（下關電報）

◎總督總監參拜

長谷川總督は山縣政務總監及び村田東條兩武官並に遠藤祕書官を從へ三十日午前十一時倭城臺招魂祭式場に於て執行されたる招魂祭に參拜したり

◎獨立宣言は寧ろ滑稽
ボーク氏の批評

三月十一日紐育イブニング、メール所載ワシントンよりの通信に依れば朝鮮の獨立宣言に就き當地に於ける日本大使館にては滑稽視し此の獨立宣言は主としてサンフランシスコ與の謀反として目されつゝあり又國務省は此の事件を重大なるものとは思考せず朝鮮國民

▲獨立聯合會　により巴里平和會議に於て朝鮮國民を代表すべく命ぜられたる李承晩及び張某に旅行券を發行するを拒めり國務卿代理フランク、ボーク氏は次の如く指摘して曰く「朝鮮は日本帝國の一部なり若し旅行券が所謂朝鮮國民獨立聯合會の代表委員に發行せらるべきものならば日本大使の要求を俟ちて之を爲すべきなり又實際に於て其代表委員が任務を帶ぶるとせば日本大使は國務省に對し彼等に旅行券を發行す

▲日本の利益　に反すなるべし

る事を要求せざるべし日本大使は朝鮮に於ては或煽動者が物好にも獨立府なるものを組織し和會議に其國民の宣言を爲し代表者なるものを派遣するも獨立の承認に對して何等有意義の理由を提供し得ざるべく兎に角日本は帝國領土の如何なる地方よりか斯の如き代表委員を巴里平和會議に送る事を是認せざるべし」と述べ更に他の國務省官吏は

▲朝鮮の革命　には東西兩洋間の係爭を阻礙し平和會議に對して爆烈彈を投ずる計畫あるを認め又太平洋沿岸に於ては猛烈なる排日派の存在せる事を指摘せり而して此の問題は國務省に達したる報告によれば日本が東部亞細亞を統治するに反對の意見を有するアメリカ人、支那人、朝鮮人、東印度人等に依りて組織せられたる此の團體は自決し得るものなりとの宣言は大統領ウイルソン氏の凡ての口演を利用して朝鮮を煽動し以て日本が彼等の

▲國民的生存　を抹殺すと稱し目下專ら宣傳しつゝある事に反對せしめんとせるものにして朝鮮は獨立國として存在し得る何等の能力も有せざるが故に大統領ウイルソン氏の宣言は日本帝國領土內には適用なきものなり朝鮮を帝國の一部となせる事は確實にして今や日本が朝鮮を舊時の狀態に復歸せしむる提案は斷じて之を拒絕するなるべし

◎騷擾と地方金融（下）
京畿道第二部長　松本誠氏談

非組合員の預かり金は口數一千八百四十三、金額四萬五千九百七十一圓にして三月分預かり金取扱高に比し口數二百十八、金額二萬五千餘圓を增加せり之を前年同期に比すれば口數二千二十九、金額三萬八千五百圓を激增せり而して之を七年三月に於ける

▲預金取扱額　が同年一月に比し口數百三十一、金額一千一百圓を減少したる事實に對照すれば是亦異常の增加なるを知るべく以上の如く組合員及び非組合員の預かり金增加を來したるは其の原因種々あるべしと雖も組合員に在りて騷擾の結果現金を手許に保存するの危險を避けむとし比較的安全なるを想ひ預入れたる者ありたると非組合員に在りても亦完全なる金庫の設備ある組合に預入し保管の安固を期せむとする者多かりし事實は預り金

▲增加の原因　の一に數ふることを得べし上記の如く地方の騷擾は貸付並に貸付金の回收に多大の打擊を與へたる外、職員の出動危險の虞あり爲めに組合員の增募を遂行する能はず組合員に對する信用程度の調査進捗せざりしの爲め業務の遂行に關し障碍を來したるが如きも何れも金融を通じたる事項にあらざると共に其の及ぼしたる影響甚だしからざるものあるを知るべし都市組合中、水原、松都、仁川は業務開始後日猶淺く業務進展せざると共に未だ

▲著しき影響　を及ぼしたる形跡を認めず只仁川に在りて多少出資の拂込み躊躇したる者ありたるに過ぎず又京城鍾路組合の開始も騷擾の爲め四月一日なりしが當時未だ騷擾の餘燼に拘はらず諸般の準備著々進捗し加之貸金業者の如きも其の取引を中止したる者多く中產階級に屬する商人の打擊尠少ならざりし矢先、都市金融組合の開業に際會したるを以て組合に

▲加入を希望　する者頗る多く組合員の如き設立申請當時に比し既に倍加し貸付金は二十一日現在に於て二萬二百六十六圓預り金取扱高二萬六千五百餘圓に達せり故に前記の都市金融組合に在りても本運動の騷擾は事務上著しき惡影響を及ぼさざりしものと認むるを得べし

◎撫順炭價
愈々引上
五月一日より

滿鐵と總督府との間に交渉中に係る朝鮮に於ける撫順炭供給量を年額十五萬噸とする事並に價格を二圓引上ぐる事に就ては四月上旬入城したる滿鐵營業部販賣課長城崎鮮藏氏の斡旋で更に會社對總督府との間に協調を重ねしも滿鐵側の態度强硬にして殆んど朝鮮側の希望容れられず乃ち五月一日よりの供給量は年十五萬噸を限度としその賣價は京城に於て塊炭二十五圓、切込二十三圓三十錢、粉炭二十二圓五十錢と決定乃ち塊炭に於て噸五圓切込み幷に粉炭に於て四圓三十錢を引上ぐる事に決定その他の各地に於ても同樣右の率を以て値上の實行をなすべし

▲滿鐵當局談　右に就き滿鐵營業部京城出張所當局は曰く撫順炭の供給減退並に價格の引上げは炭坑關係採掘の限度並に輸送力より見て止むを得ざる事にて結局一決二十八日總督府當局とも打合せを了したり總督府側では結局上並に減價止むを得ざるも然し乍ら石炭不足量は滿鐵にて移入の努力を求むとの事に付此方面に就ては相當方法を講ずる考へなるが少くも不足量十五萬噸內外なるべしと考へらるゝに付如何なる方法にて如何なる石炭を移入し如何なる手段を以て買ひ捌くべきか目下考究中にあり其間滿鐵としては內地炭の移入に犧牲を惜まざる方針なり

◎持越軍靴處分

朝鮮皮革會社にて露國の帝政時代政府より註文を受けて製造せし軍靴の中三萬四千足は同國革命亂の爲め受渡しを了せず最近まで持越しゐたるが過般西伯利亞軍の需要として浦鹽ロッドフェルト商會より二萬足ハルビン東亞貿易公司より二萬足の註文朝鮮皮革に入り同社にては右に對し三萬四千足は既製品を又新に六千足を新造して數を整へ客月その受渡しを行ひたり以上を以て皮革會社の露國註文殘品は少數の彈藥盒を剩すのみとなれり

◎京畿改良稻種
獎勵計畫

京畿道にては改良稻種普及の目的を以て八年以後十二年迄に管內十萬町步の水田に年々二萬町步宛普及せしむる計畫を立て之れが種子一斗に付一圓八十錢を補助しつゝあるが七年は一萬石の種子を穫て播種する豫定なりし所水田の成績良好にして一萬一千二百十七石を穫たる由なり昨年の例により今年よりは道種苗場原種田產を以て充つべく普及稻種は早神力、多摩錦、穀良都、石白、日の出種等なりと

◎京畿春蠶豫想

京畿道今年度の春蠶掃立枚數は四萬四千枚にして昨年の三萬六千枚に比し八千枚增加の豫定なり掃立は五月十日頃より着手さるべく今年の氣候は例年夕寒暖の差甚しく順調と云ふ程にはあらざるも不順と云ふ程にもなければ成績も概して良好なるべく降雨適當にして桑葉の發芽伸長著しき由なり

◎新機關車著期

京城管理局にて米國へ註文新造せし機關車は五月上旬釜山入港の船にて到着する由なるが到着後組立を急ぎ六月上旬には運轉し得るに至るべきを以て輸送力も亦幾分增大を見るに至るべしと

◎立神丸出帆

朝郵船立神丸は愈々二十九日午後五時門司に於て船舶の上檢査を受け準備中の機關航路に就航すべし

◎江景水產認可

忠南論山郡吉田梅太郎外十五氏よりの出願に係る資本金五萬圓の江景水產株式會社設置の件は二十六日附許可の指令ありたり

◎德興商店認可

本店を咸鏡南道洪原郡に置き資本金十一萬圓を以て貿易及び附帶事業を營まんとする合資會社德興商店設置の件は豫て鄭無鉉氏外五名より許可出願中のところ二十六日附許可の指令ありたり

◎殖產銀行異動

殖產銀行にては左の如く課長支店長の異動を行ひたり

- 商業金融部審査課長（鎭南浦支店長）　野田新吾
- 鎭南浦支店長（商業金融部勤務）　白石甚吉
- 本店商業金融部勤務（江景支店長）　佐々木卯作
- 江景支店長（商業金融部）　川崎良太郎

尙ほ新設の仁川支店長は全州支店長岩崎虎次郎氏に決定せる事既報の如く又岩崎氏の後任は同支店助役佐藤恒太郎氏之れを襲ふべし尙今回審査課長の新任あり本店內の課長の缺員は調査課長並に證券課のみとなりしが調査課長には某銀行の某司事入つて就任すべく證券課長も略入選內定せる模樣なり

◎仁川取引所臨時總會

仁川米豆取引所にては三十日午後一時より同所樓上に於て臨時株主總會を開催し定款改正に關する件及び未收入金役員責任に關する件處分に關する三件を附議すべく以て舊株主總會は最終となり更に來五月新株式拂込後新に臨時總會を通達し重役選任に關する其他の件を議決することゝなるべく而して次回の臨時總會は來十九日或は二十日頃開催するに至るべし

◎官廳執務時間

一般官廳は五月一日より七月十日まで午前八時開廳午後四時閉廳のことゝなれり

◎松平子着期

新に京城駐在となれる東拓理事子爵松平直平氏は三十日東京出發多分五月二日頃入城すべしと

◎出張辭令（二十九日附）

平壤女子高等普通學校長　[illegible]欽二　出府を命ず（五日間）
總督府事務官　山尻生五　東京栃木大分福岡の各地へ出張を命ず（二十一日間の豫定）

新嘗祭獻穀田畑鎭祭式場即吟　四月二十七日於論山郡夫赤面夫入里　桑原枝江

嘗穀朝成自今傳。嘉禾獻饌輪微渭。名山勝地有人在。鎭祭萌新數畝田。

人事消息

▲生駒高常氏（文、省參事官）　支那視察の途次二十九日朝入城同夜內地へ向け出發
▲多田榮吉氏（新義州木材會社長）　三十日朝入城[illegible]

八面錄

◆伊國の脫退を以て、巴里公會は愈々緊張し來れり。伊國の對フユーメ、日本の對山東問題は、似たるが如きも、其の實大いに異なる處あり。然れども伊國がウイルソン君の反對に遇ひ、倫敦條約を無視せられたりと憤りたるは、山東問題に對して、日本は千九百十五年の日支協約存して、加之り他の容喙を許さゞるものあるに拘らず、他の之れに干涉せんとするは、即ち日支協約を無視するに同じ、故に日本國民は、斯の如き不當の處置に對して、最早少しも讓步し、隱忍すべき理由なしとし、輿論が國際脫退を高唱するに至れる點に於て、相似たらずとせざらむ。

◆日支兩國間の既定協約を以て、若し假にウイルソン君の言の如く排し得んとせんか、英人上海、香港、威海衞を支那より獲得せるは、果して支那の自發的意思に出でたるものとすべきか。比律賓、玖瑪、布哇の米國に隸屬せるは、果して其の本心之れを愛好してのことなりと言ひ得べきか。借問す、世界は今日諸國民のみの天下なりとするか。今日に於て聯盟側が、其の協調を缺く、一步は一步丈け、敵國側の利益となるを知らずや、乞ふ彼等に關する諸種の情報を綜合せよ。講和條件不履行、過激派思想の傳播、獨逸復活の旋律を左右兩翼として、聯盟、人道の壘を摩せんとするに非ずや。而も巴里公會が此の際纏まらずして何ぞや。

◆有力なる某外紙は、聯盟は日本に加へんとする[illegible]、之れに對せんとする機會を與ふるに非ずして何ぞや。曰く、日本が此に取入すること、其の否とは、日本の文明の新紀元なるか若くは之に加入せざる損害なるか、世界の一半は本聯盟に對し無加盟者なるに加ふるに本聯盟は頗る脆弱也、何等實質的の利益あらざるべし、日本は此の文明の新紀元に對し、劣等人種に對する壓制を被れる道並に平等の主張を宣言したる上、名譽と理想を手中に收めつゝ、聯盟の埒外に立つを得べし、茲に疑はるゝは、日本が世界最大の強國に伍して、高等政治を行ひ得べき見識なりや、若し余にして日本ならんには、國際聯盟より脫せん、と。諸君以て如何に見るか。

▶サツポロビール後援◀

初日以來引續き　滿員御禮

大悲劇　尼になるまで　五卷

生ける國民教育、琵琶劇　嗚呼鈴木校長

殉職校長鈴木志津衛氏のフヰルム一度當館に封切せらるゝや京龍三十萬の同胞は厚き涙を絞らる……故鈴木校長　英靈や定めし地下に感謝せらるゝならん

有樂館　電話長五九七番

◎五月幟

諸染物類　京染悉皆　洗張湯のし
京城岡崎町七十番地　清水堂染工場　電話五百十番

特許アイデール精米麥機　最新式188

御照會を乞ふ　說明書送呈

本機ノ特色ハ [illegible]

創業明治二十六年●賣上臺數壹萬五千臺

事實は最も雄辯也

米麥精機アイデールは本邦に於ける精米機中の鼻祖にして其能率の低廉は既に天下の知る所なり價格の優秀を美みし巧みに世間を偽らんと欲して現出せる惡模造機の數今や八十餘種の多きに上れり最も米麥精白用機械に就て調査せられよ本機の外何等の難もあるべし乞ふ

東京市日本橋區蠣殼町　中澤工業株式會社　秋月製作部　振替東京九六〇二番

代理店　京城南大門　中根商會

婦人日常の手引　家庭顧問　毎月一回一日發行

五月號　紙數增加內容更に充實化粧研究欄を開設せり

口繪寫眞　[illegible]

▲端午と人形　▲日本の家庭　▲結婚する迄の研究　▲婦人美の研究　▲美人の要件　▲家庭衞生　▲ニキビの話　▲宮廷の話

本誌の新研究　化粧の研究　(1)此頃の顏に汗ばみ脂じみるのを防ぐ方　(2)美顏マッサージ法　自身で簡單にやる美顏法　(3)色白くなる手入方　黑い地肌も白く美しく　(5)銀杏返しの結び方　(6)[illegible]

▲室內の整理　▲家庭顧問　新小說　輝く王子　現代小說　[illegible]

東京麴町區上六番町廿六　化粧調査會　振替東京四二九四九番

[illegible]

招魂祭　長谷川總督の參拜

◎我統治下に悅服せる
南洋の諸群島 (6)
年に四回米が穫れる
繪畫と彫刻の集會所
臨時南洋群島防備隊民政部長　手塚敏郎氏談

前に述べたアンガウル島の燐礦は最初獨逸が之を採掘してゐたのであるが、獨逸は之を掘るのに大會社を作り僅の島なるにも拘らず十哩許りの鐵道を敷設して燐礦の運搬に用ひてゐた、其他電氣機械等も使用してやつてゐるのであつて南洋群島中一種の文明國である。此等燐礦の如きは實際最も價値ある製産物であらう。然し斯る事業をするに就て

最も困る事は

勞働者の無いといふことである。土人は働くことを好まない、殊に自分の島を離れることを好まない。故に日本から連れて行くにしても第一家屋が無い、食物がない。衛生的設備も完全で無い。米穀は日本から持つて行かなければ南洋には無いのである。現に試作してゐるが、一年に四回は收穫されるやうである。然し四回も栽ゑれば土地の痩ることいふこともあるから、先づ

一年に三回位

の所が適當であるやうに思はれる。そして一度植ゑておけば、刈つた後から又芽が出て實るといふ風である。然し未だ如何なる種類の稻がよいかといふことは不明である。然し此等栽培上のものは、マーシャル群島は絶對に不可能である。それは珊瑚礁である爲めに、土が無いのである。一千哩もある遠くの島から石炭箱に土を入れて運んでまでも、小さな畑を作つて、そして僅の野菜でも栽つて見たいといふ風である。然るが此の邊では日に

一度位は驟雨

がある爲に、充分栽培することが困難であるといふことである。又飲料水は此の邊では此雨水を貯へて用ひるのである。大きな島ならば、水もあり河もあるけれども小さな島になると雨水によらなければならないのである。今日では土人として米飯の味を覺ゆるに至り、之を大いに好むやうになつてゐる。而も彼等土人は此の米飯を食するにも別に副食物と共にするでもなく、

徒らに手摑み

で食するのである。そして『米飯は腹に力がつく』といつてゐる。次には交通や通信の狀態であるが、これは誠に未だ不完備のものであつて、日本からの航路は海軍の用船を用ひてゐるのである。然し此等の狀態は事、國防上に關するものがあれば委しく述べることは出來ない。土人は陸上に相當の道路を作つてゐる。水上には丸木船を用ひて附近の島々へ往來してゐる。道路は坦々たるもので

自動車を用ふ

ることも充分出來る位のものである。家の構造は內地とは違つてゐるけれども日本の百姓の茅屋の如き形を爲してゐる。西方に於ては家に床があるけれども東方のものには床が無い。中には大なる家屋があつて、柱なども太いものが用ひてある。それは主に土人の集會所であつて、その內部の柱には種々の繪や彫刻がある。それは其の時々の大なる出來事を記して置いたものであつて戰爭の繪もあれば軍艦の繪もある。或は男女間題の出來事を刻んだ

淫褻なる彫刻

もあるなど實に噴笑せざるを得ない。此等のものは實に土人の歷史を語るべく彫刻されてゐるものなることは明かである一般に西方の土人は彫刻に巧であり東方の土人は織物手工等に巧である。

◎決然巴里を引揚げた
伊太利の老外相
當年七十三歲の高齡
聊か頑固な點もあるが
意志の極めて強い人

既報の如く伊太利は遂にフユーメ港要求の主張が容れられぬとて講和會議を脫退した伊太利の此の強硬な主張の中心は外相ソンニノ男である事は言ふ迄もない尤も首相オルランド氏も講和委員として

▽**巴里會議** に列もしてゐるが實際はソンニノ男の一人舞臺で首相は凡てソンニノ男に委せてゐるソンニノ男は伊太利國名門の生れで英國婦人を母として宏莊な邸宅の中に育てられ不自由のない歲月の中に敎育されて人となつた共れだけ各方面の研究に

▽**趣味を持** つて政治、外交、經濟は勿論の事文學美術にまで通じて立派な知識を持つてゐる性格は直情徑行で聊か頑固な點もあるが意志の極めて強い事は定評がある戰前の人である政治家としては親英的色彩を有してゐるが外交にかけては優れた手腕を持つてゐるので同國にある

▽**反對黨も** 其の方面では非難の聲を擧げない男が議會や其の他で演說する時は大判の紙に大きな文字で書いた原稿を卓上に擴げ兩手を上衣のポケットに入れ時々それを見ては身體を起して讀み上げる聲は太くも高くもないが深い知識を貯へて居るのこ

▽**創見に富** んだ其の議論は吾人をして傾聽せしめる政界に居ない時はフローレンスに近い居城に籠つて文學美術に親しんでゐた今年七十三歲の老人であるが雷蹶健壯者を凌ぐものがあるオルランド首相も貴族的色彩を有する政治家で同國に多大な功勞のあつたジョリテー卿の下におつて

▽**其政治上** の手腕を發揮し今日の位置に進んだがソンニノ男とは同國の內治と外交とを各分擔して立つてゐるやうな關係の許にある

◎渡鮮客 夥し
連絡船は滿員續き
乘客は大困り

近頃渡鮮方面に內地より出稼する者非常に多くなつて來た爲め下關驛は列車の着する毎ごとに列車と滿員の有樣で廿六日午後九時三十分出帆の關釜連絡船などは乘客多數のため乘船せしの得ざりしより五十餘名は乘船を拒絕されたが廿七日午後九時三十分出帆の博愛丸の如きも百五十人の乘船を拒絕するの止むなき次第だつた此乘客は全部驛前の各旅館に投宿したが廿八日午前十時三十分出帆の壹岐丸の如きも前夜の百五十人も殘り居る爲め船室は狹いため止むなく拒絕したが中には婦人の如き二日間も下關に居るといふ有樣で非常に困つてゐる乘客中には鐵道院の措置を非難して居る者もあつた(下關支局)

米國より
◇甘き雨を頰張る
紐育の凱旋式
赤十字社の看護婦が自動車を運轉
內地で見られぬ茶目氣分
總督府醫院精神病科長　水津信治

國に來て研究に不便さを感ぜぬ點は前にも述べた通り研究室が自由であること。研究材料が豐富である事の外に尚其の圖書が豐富で其の檢索が十分に出來る事である。自分が今行つて居る研究所でも廣大な圖書室二箇所を持つて居て米書は勿論獨逸書等も澤山に藏して在る殊に神經に關する書籍の如きは大部分用意せられ然も

▽**貸出可能** なる點の如きは非常に便利であると思つた是れでも若し間に合はない時は市中に『カレッヂ、オブ、フイヂシアン』と言ふ宏大な圖書館が設備されて居て醫書と言ふ醫書は殆んど全部藏せられて居るのである是れに付けても思ひ出すのは朝鮮に於ける圖書の貧弱さで今更ながら遺憾千萬に思つてゐる綜合的なそしてしつかりした醫書の圖書室位は總督府醫院內に設置されて自由に參考し得る日の一日も速かならん事を願ふ次第である。硬苦しい話は先づ別として自分が昨秋上陸した當時は米國の軍國氣分

▽**高潮に達** して居た頃とて假令邦人と雖も國內を俳徊してゐる者は直ちに捕へて兵役に服せしむる有樣であつた其の他パン、砂糖の制限『ミートレス、デー』(肉なし日)等延いては輸出書の制限迄したけれど平和後に及んで之等の事は漸次撤廢さるゝに至つた然し戰後になつてからも戰地に於ける國民の飢餓窮困を救ふ爲めに『ドントハストップ、セーヴ、フード』(金絹節約を止むる勿れ!!!)の大きな廣告が『ビクトリー』(勝利)の歡喜と共に張り出される所等はさすがに感心せざるを得なかつた。去る三月二十五日には所用を兼ねて紐育に行き序に

▽**凱旋式を** 見物したが其の壯大さ、群集の熱狂さは到底內地邊での想像以上である自分達は路傍に面した公園の高地から見物したが朝八時頃から午後の三時迄は立ちづくめで足が棒になつた位である、先發には負傷兵の多數を自動車に分乘せしめ其の自動車の操縱者は悉く妙齡の赤十字看護婦であつた事は自分達の目には一種異樣にも亦賴母敷くも感ぜられた當日の名譽ある凱旋軍人諸君は得意の步調宜敷く嚴肅さを示して居たが行軍の休みの間に群衆が熱狂せる

△**歡聲と共** に林檎、蜜柑、『キャンデー』等の雨を降らせ軍人さんは其甘き雨を鷲摑みにして頰張り込む所等は迚も矢張邦國に見られぬ茶目氣分の發揮かなと可笑く感ぜられた(終り)

◎橫濱の
大火損害
三千萬圓
侍從御差遣

橫濱大火の損害は三千萬圓にして畏き邊にては廿九日侍從を御差遣あらせられたり(東京特電)

◎落花の下の
招魂祭
今日南山で嚴かに執行
總督以下百餘名參列

戰病死者の招魂祭は三十日午前十一時より南山公園倭城臺に於て嚴肅なる鎭祭の儀式を合圖に嚴かに擧行せられた此の日夜來の雨名殘りなく晴渡り朝暾

◇**新綠に映** えて心地よく清掃せられた祭場の正面には祭壇を設らへて神酒を供へ長谷川總督、山縣政務總監、宇都宮、淨法寺、兒島の各中將以下文武官、民間有志者等百餘名の參拜者は定刻前から詰め懸けて祭典の開始を今や遲しと待つ際て敬發の煙花

◇**碧空に轟** くや先づ修祓に始まり谷村齋主進んで招魂の式を行ふ磁間の壁に齋員一同平伏し參列者一同起立敬禮の裡に齋主神饌を獻し祝詞を奏する次いで各宗僧綱

◇**位牌の前** に進み出て伽陀を嚴修し此間導師の燒香あり讀經の後同向文を朗讀し祭主金谷京城府尹祭文を奏す終つて谷村齋主玉串を獻じて拜禮續いて齋員一同列拜次に金谷祭主一般參列者の順に拜禮があつて奏樂の裡に神饌を撤すれば副齋主進で

◇**昇魂の式** を行ふ所で式を閉ぢたのは正午頃であつた遲咲きの櫻花折柄の微風に誘はれてハラ〳〵と祭壇に散り掛り參者の淚を唆つた午後からは各學校生徒や一般の參拜で却々賑はつた

◎卒哭式

李王家にては二十九日午後九時より德壽宮魂殿に於て卒哭式を擧行されたるが李王、李堈公兩殿下はじめ各御親戚、李王職高等官等參列同十時十五分式を終れり

◎初めて觀た
日本劇
梅蘭芳の感想

支那俳優梅蘭芳は其の長い旅の疲れも忘れて二十六日の夜は下帝劇で開演中の『一の谷敵軍記』を見物した概は觀劇後その感想を語る『先づ私は帝劇の

△**建物を見** て喜びと驚きとを一時に感じたと云ふのは寧ろ日本の劇場が豫想外に立派で整頓して居るとです、之れならば全く歐米の劇場と異なる所がありますまい、さて幕が開きますと私は出來る丈け靜かな心持で舞臺を見ることに努めました、一の谷軍記は平家と云ふ一つの部族が

▽**昔の支那** に似て居るのと武士の情を仕組んだ所は支那劇によくあるので一番解り易く思はれました、唯だ日本では科白で泣き入る愁嘆場を支那劇には唄にして現はすと云ふ違ひがあるだけですから……日光陽明門では何よりも彼の大きな門が何事もなく廻轉して行く大仕掛の大道具に驚きましたが

▽**一番感銘** しましたのは中幕の茨木です、綱の男らしい茨木の舞の上手さ殊に段に扱になつてから茨木が長い髮を振立てる所などは何とも言はれぬ面白さでございました、それに音樂……大薩摩……にも細かい鮮かな音律があつて唯々見惚れて居りました』

◎鑛山に手を出して
總督府會計課の公金費消事件
誠に遺憾に堪へず
荻田總務局長の談

總督府會計課出納掛上野弘一(三)が公金一萬二千圓費消事件は本町警察署に於て取調を了し豫審に回附せられたるが右に付き荻田總督府總務局長は語りて曰く『上野弘一は大正五年夏頃より

▲**兩三年に亘** り自己の保管せる行旅病人救護資金等の各會計に屬する公金中より一萬二千餘圓を橫領費消したることを發見したるを以て休職を命ずると共に本町署に告發し目下京城地方法院檢事局に於て取調中なるが同人は尚右公金費消の外にも

▲**餘罪ある見込** にて裁判所は嚴重取調中の由にて其詳細は豫審終結の上にあらざれば發表するの自由を有せず本人は明治三十九年統監府時代就職以來會計課に勤續し現に出納掛主任として二級俸を受けつゝあり技術優秀にして世間の信用も淺からず學校組合會議員の職に在りしものなり犯罪

▲**發見の端緒** は上野が二月中旬病氣缺勤の爲め別府に轉地し書類帳簿の引繼を爲したるより代理者に於て犯罪を發見し直ちに極力調査を進めし處犯行用意周到手段亦巧妙にして書類帳簿を改竄しありて調査困難を極めたり而して一方上野を別府より召喚取調したる處容易に自白せざりしが證據に依り遂に自白したり

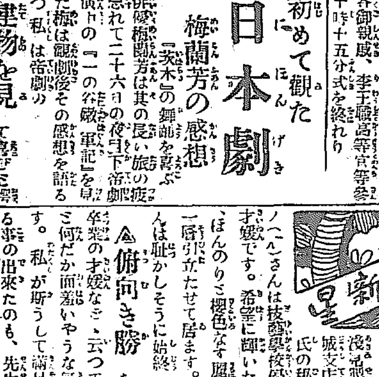
▲**紊者は** 總督府內には全く無し而して橫領の金員は鑛山事業經營に費消し失敗したるもの、如し本件の如き橫領事件を總督府に於て惹起したるは最も遺憾とするところにして今後其の取扱ひ方法を改善すると共に一層其の監督を周密にし將來斯の如き不祥事を再びせしめざる樣嚴重注意する處あるべし』

◎玄海に投身
博愛丸の一等客

二十八日午後發關釜聯絡船博愛丸にて釜山より下關に向ひたる一等乘客大阪市伊藤清一郎なる者二十九日午前一時より三時迄の間に於て沖之島附近に投身せるを發見したるが遺書に依れば同人は京都市烏丸四條上る久次郎方河合辰之助と云ふ者にて船客名簿の氏名は僞名なるもの、如く又自殺の原因は別段精神に異狀なかりし模樣なれば多分家庭の不和ならんと察せらる(下關電話)

新しき星

◇新婚の夢暖に
初々しい花嫁振
技藝學校優等卒業の才媛
新田アサノさん



淺見製材會社京城支店新田元助氏の秘藏娘アサノさんは技藝學校優等卒業の才媛です。希望に輝いた黑い瞳がほんのりと櫻色なす麗しい顏を、一層引立たせて居ます。アサノさんは恥かしそうに始終

△**俯向き勝** ちに『優等卒業の才媛など、云つて戴きますと何だか面羞いやうな氣が致します。私が斯うして滿足に卒業する事の出來たのも、先生や兩親のお蔭と思つて感謝して居ますの。學科は刺繡、裁縫、それに數學も可成好きで御座いました。』と

△**優しいお話** でした。すると側に居被した阿母さんが『アサノは學校を出るとすぐ良緣を幸ひ早稻田出身の青木幸治と結婚しました。そして新夫婦連れ立つて、只今歸つて參りました處なので御座いますよ』と包み切れね

△**喜びの色** を浮べながら被仰いました。『阿母さんそんな事被仰つては嫌よ……』とアサノさんの顏は初心しい恥かしさにほつと熟つて居ましたが、それでも新婚の喜びは自と顏に現はれて居ました。(寫眞はアサノさんと其作品)

◎奉天の初雷　奉天にては廿九日午後八時頃より電光閃き間も無く雷鳴と共に驟雨あり本年の初雷なり雨は左程撥だしからず間も無く歇みたれども雷鳴は一時間斷なく續きたり(奉天特電)

◎浮浪者狩り　木浦警察署にては去る二十六日午後八時より署員の非常召集を行ひ市中の浮浪者狩りを行ひたるが檢擧せる者廿名賭博犯一件一名有たり(木浦)

◎花折る可らず　平壤警察署にては衛生部社友會員三十餘名は二十七日牡丹臺にて春遊會を催したるが內三名は酩酊の結果櫻花を折取りたるを其筋に發見され何れも自白の上一日の拘留處分を受けたり(平壤)

運動界

▽鎭南浦の球戰　南浦軍對飛二浦軍 南浦軍對飛二浦軍の庭球及び野球試合あり庭球は午前中四日南浦コートにて野球は午後より人グランドに於て擧行の筈飛二浦軍の陣容は未詳なれ共南浦軍の庭球戰士左の如し(鎭南浦)
(吉川)白石 (十時)太田 (吉田)仁科
(石倉)牧田 (川畑)尾形
(中村)中西 (東丸)岩崎 (松岡)藍井 (山田)野村
(酒井)

◎兩將軍の家族　三十日朝釜山入港聯絡船にて淨法寺第二十師團長家族並に兒島警務總長家族上陸十一時發鮮滿直通列車にて北行京城に向ひたり(釜山特電)

◎隈部氏葬儀　元本社理事故隈部親信氏の葬儀は二十九日午後五時若草町曹洞宗別院に於て嚴修せられたるが本社員代表藤村氏及び熊本縣人會幹事小川靖雄氏の弔詞朗讀あり熊本縣人質商組合員本社員其の他の會葬者百餘名盛儀なりき

◎田角坦氏逝く　元平壤覆審法院檢事田角坦氏は昨年夫人を喪ひてより病を得東京佐野病院に入院治療中の處終に廿八日逝去せりと

演藝案內

有樂館　長尺 ▲嗚呼鈴木校長 ▲尼になるまで 五巻 ▲線の痣 全三巻 ▲凸坊空氣銃の巻 ▲ユニヴァーサル週報

黃金館　電話二二六六・三三七 ▲二代目桃中軒雲右衛門來る

壽館　本町二丁目 電話一〇五〇

大正館　電話八七三 ▲山家の乙女 五千呎 ▲チヤプリンの義氣 ▲『に狙の喧嘩』全三巻 ▲『不知火』全六巻

壽座　京城本町 電話五七八 大阪歌舞伎若手一座 ▲肥後駒下駄 ▲岸姬松轡鑑

浪花館　京山春駒浪花家虎丸一座

質 大質 金町長谷川町入口 電話二九二六番 田村質店 商品擔保便利取扱

アザなまづ そばかす黑子イボ 等の爲め困難の人はハガキにて申込を 學理實驗其功力著しく可なり 化學應用劑 他に類なし 懇切に通知す 東京市向島小梅町 平澤樂院

長男正一葬送の際は遠路態々御會葬被成下難有奉深謝候混雜中御名刺御收受有之も難計候以紙上御禮申上候
四月三十日
父 小玉久太郎
親戚 田中德太郎
片桐伊平次
片山武一
林太一郎
吉川勝一
總代 近藤
友人代 阿賀忠一

洋釘 平板 亞鉛線
京城南大門通三 福田久京城支店 電話一二二・六三 振替京城二九二

六千四百三十二圓 四千圓
其他廿四回以後總テ組合セアリ
神戸 塩崎商會

法人登記公告
水原支廳

◎白石少佐待命仰付らる

◎連絡船上陸客　廿九日

サッポロビール愛飲家に限り本切拔御持參の方は左の通り割引候

有天 晴れ

軍人の體面は傷けなかった

[illegible]

◎安東縣片信

▲地鎭祭 [illegible]

第一版　滿洲遠邇

（十二）　一貫生

慘憺たる記念物

要塞戰に於て攻擊軍の苦心と惡鬪は、普通戰場に比して幾百倍なるかを知らぬ、又防禦軍に於ても攻擊軍に劣らぬ苦戰惡鬪を續くるのは戰史の明示する處である、近くは彼のヴェルダン戰の如き慘憺な戰鬪は恐らく戰史上未曾有の出來事であらう、旅順戰に於ても攻擊軍たる日本軍の惡戰苦鬪に對し防禦軍たる露軍が、同じく苦戰惡鬪を續けて居た事は、彼等が使用した兵器でも充分に證明せらるゝ先づ吾人の眼を引いたのは、其の被服部に於て狂病衣と紙札のぶら下つた、理髮屋の職人の纏ふて居る樣な白布で出來た粗末な筒袖の服である、是が露人籠城中の悲慘事の一部を物語つて居る、日本軍が愈々肉迫して夜となく晝となく旅順市中へは大小の砲彈が落下爆烈する間斷なく百萬の遠雷の樣な砲聲が轟々と響く空中は流星の如く巨彈が唸りを生じて飛ぶ、眞に此の世からなる地獄を演出した時籠城の露人は男となく女となく、老若を問はず、軍人市民の別なく日夜戰々恂々として甚だしく精神を痛め、恐怖に襲はれ、神經衰弱を起し、遂に發狂して自殺をなす者、狂奔する者日を追ふて續々多發するので之れには流石の防禦軍の幹部連も非常に閉口し、此の狂病衣を被せて病院に收容したのであつた相な、其れから封鎖中にあつた露軍は、他に僅の連絡もないから兵器の補助が出來ない、だから其の點にも大分苦心して居る、廢電池に日本製の陶器の火鉢を使用して居る處や、鬪匙や十字鍬が摩滅して何の用にも立たぬ樣になつて居る處や、小銃五挺を並べて機關銃の樣なものを作つて居る事や、魚形水雷を陸上に使用して居る處などは隨分其の苦戰を偲ぶに足るのである、此の他一として憐憫たらざるものはない、之れに對し日本軍の使用したものも隨分苦戰の跡を止めて居る、鐵板の楯の如きは僅な板面に十數個の彈痕があつて、殊に戰場から現はれた碎けた軍刀、銃劍等に至つては、夫に附着した血と肉とが、十年後の今日迄も黑く殘つて、見る人をして慄然たるを禁ぜざらしむるものがある、其他各永久堡壘の模型は、如何に其構造の堅固なりしかを思はしめ、爾靈山の模型は其攻擊の苦戰を示し、壁間に揭げられたる戰鬪當時の大寫眞は、此地にあつて之を見る者をして眞に目擊するの感を生ぜしめ懦夫をして起たしむべく、肉躍り血湧くの感がある、棟底を貫いて落下し、爆烈して四方の壁面に無數の彈痕を留めた、我八珊地砲の威力を示したる一室に立つてつくづく當時を偲ぶ惡讐もと私怨に非ず、兩軍の猛激突戰、何れも其君國に酬ゆべき一片奉公の大義に依るのみ洵に以て男子の本分である。

◎大豆保險問題　怪火事件に就て

大豆保險問題は世人の記憶に新なる如く難產の末漸く出來上り關係當事者は安堵の胸を撫すると共に世間一般も大連經濟界の爲めに喜び且つ忌はしき災害根滅を切願したりき、爾來少康を得る數月斯問題に對する世人の記憶漸く薄らんとせしが、端なくも本月七日豆火事を傳へて關係當事者に一大衝動の驚愕を與ふると共に、世人をして奇怪の念に堪へざらしめたり、而して當局の之に對する努力は殆んど間然するなき迄で、苦心慘憺を極め居れるにも拘らず又復十日、二十四日と頻發し、只怪火怪火と稱するのみにて禍因は依然として、暗中摸索たり、七日の火災勃發以來、今後に於て尚續發を見るが如き事あらば折角締盟を重ねて、契約せし保險も、解約の憂ふべき事態に逢著するなきやと懸念し一刻も早く禍因根滅を願ひし甲斐もなく、其後續發殆ど底止するなき有樣にて、何時之が禍因絕滅を期し得らるゝや、測度に餘る事態となれり、遂に東京保險側は、保險契約續行不可能となし廿五日附を以て契約書の條項に基づき、五月五日限り契約を解除する旨滿鐵に對し通告し來れり（大連）

◎大連浦鹽航路

戰亂以來暫く中絕の大連浦鹽間定期航路開始すべく大連汽船會社は種々調査する處ありしが、愈再開に決し、同社所有船泰昌丸を就航せしむべく、同船は二十九日頃に解纜荷の上、鎭口芝罘を經由の上浦鹽に向へり尙目下山東省より露國への出稼ぎ苦力の數夥しきものありて今回の如き約一千名の苦力を輸送すべく復航貨物昆布及び北海產大豆等なりと

◈長春便◈

發字號……露國紙幣……奇利

◆發字號　發字號に既報せし如く當地に於て發字號と普稱され糧棧、錢舖、燒鍋、雜貨輸出入業と各店共に發字を記號となし居りて東三省各地に亘り三十數箇所に支店を有する滿洲屈指の支那巨商從發合は既に過般露貨及び官帖等の大暴落にて金に換算して約三百餘萬圓の損失を釀し頗る窮境に陷り居りしが、猶先日來の引續きての暴落の爲め遂に彌縫の策殆ど盡きたらしく各取引先に對して決濟不能の向きありしより遂に破綻を傳へられしも同商の萬一破產する如き事あらば滿洲に於る財界の混亂名狀すべからざる慘況を呈すべきより陶道尹始め長春商務總會長及び日支の各銀行業者は何れも目下救濟策を協商中なるが邦商等の關係する處も亦大なれば一般財界は非常の危殆を感じ居れり而して若し同商の破綻を實現するに至らば支那商人の引續いて倒產する者相踵ぐべしと云ふ

◆露紙幣　現時長春哈爾賓市場間に流通せる露各紙幣の舊ロマノフ紙幣を標準として其差違價格は實際左の如き割合に於て授受せられつゝあり

舊ロマノフ紙幣一留に對して新一千留二百五十留紙幣は九十哥內外東支鐵道發行紙幣は八十哥內外四十二十留ケレンスキー紙幣は七十哥內外西伯利亞紙幣は六十五哥內外

支那人間には目下ケレンスキー紙幣の受入を拒む者多く小錢舖などは兩換を拒絕する向きを生じたる程なるが元來露貨相場は舊ロマノフ紙幣に對しては一割方安價なる新千留二百五十留紙幣を標準とされ居るを以て現在のケレンスキー紙幣は約六掛とされ居れる模樣なるが利に敏き支那商人等却つて之を奇貨として盛んに結束して其授受を拒みて市價を落し其間に奇利を博せんと企畫なし居るものありと云ふ

◎忠南に於ける　鮮人漁業開拓

◆漁利多し　忠南は六百餘哩の海岸線を有し廣漠なる干潟地あり又大小幾百の島嶼碁布羅列し各種の魚族鯛、鰤、鰈、蛤等貝類棲息するあり漁撈製造養殖共に有望なるが鮮人の幼稚なる漁業は遺利頗る多く此後開拓の餘地多々あり先づ漁船の改造は在來漁船に比し操縱に便にして乘組員を節約し經濟的なるのみならず持久力に富み漁業上頗る重要の問題なり同道に於ては年々漁業傳習を行ひ傳習修了生には漁船購入補助として一隻に付百三十圓乃至二百六十圓を給し大に獎勵に努めつゝあり漁獲高も內地型漁船の一年に八百圓內外漁獲する場合同大の在來型にては五百圓內外に過ぎず殊に延繩の如きは內地型にあらざれば殆んど使用し得ざる狀態なり漁撈法の◆改善すべき點は鮮人に鮑縷網及び延繩を獎勵することゝ柱木網及び流網を獎勵することゝ、各種の防遏漁具の改良をなさしむることゝ等を重なるものとす鯉網の如き年額千三四百圓の漁獲ある場合あり平均八百圓に達す柱木網の如きも之が改良をなすときは一基最高八百圓普通百五十圓の漁獲あり鹹水養殖は牡蠣、蟹、灰貝、鯛、蛤、鰻等有望にして淡水魚にあつては鮎鯉等も多望なり鯉は唐津郡石門面地方は最も有望にして朝鮮水產輸移出株式會社にては養殖事業に着手せり（公州）

◎渡しの錫り高　一日に五百圓　賑ふた花の月尾島

風そよぐ春の海邊に咲き誇る月尾島の櫻は二十七日の日曜こそは又と見得べからざる見頃の花とあつて霞まだき晨の花姿から夕べの落花まで引きもきらぬ歡客に全島悉く人を以て埋もるの賑やひを呈した此日京龍から出掛た人數は實に數千に達しそれに仁川の浮かれ兒が老も若きも加はつて其數實に五千と註せられた樹の下影に廻らす幔幕の內には今日一日の歡樂境と飲めや謳への大騷ぎ花も定めし滿足しつらんと思はる、ほど海原渡る微風に靜心なく散つてゐた、此の近頃滅切り寂れたと噂された仁川の花柳界も此の日許りは流石に箱切れの大繁盛容なればこそ花あればこそ人は斯も浮かる、ものかなと感心された此の賑やいに

▣奇利を博したものは仁川の解船で押すな引くなの大人氣を背負つて一刻も早く砂白き島に渡らうとする觀客を片ッ端から收容して愉快輕く渡つた其の賃金が輕く切れ一日五百圓を揚げたと云ふ一人往復當に十錢それが五千人にも達するのであるから今日こそが書入れ時と運輸部棧橋を出る渡しや花房町の運輸部棧橋を離るゝ船之れ等は殆んど舶を接するの大繁忙之れでは一日の收入五百圓もさる事なりと背かれた（仁川）

◎悔い改めたる　不正漁業者が　神前で宣誓式

◆初漁に鯔が二萬尾◆

朝鮮水產組合長林駒生氏の發意により不正漁業者の改悛組に彼等の綱組一統を授け巨濟島長承浦太田漁業組合長總營として勇進組と命名して出漁の砌は龍頭山神前にて宣誓式を行ひ勇ましく出帆せしは既報の如くなるが巨濟島東部沖合に於て鯔二萬尾の大漁を爲したる旨太田氏より林組合長の許に入電あり同氏は直ちに勇進組宛祝電を發したる由（釜山）

天道教（二五）

伊藤韓堂

第二世崔時亨（七）

‖東學黨と崔時亨‖

▲時に崔時亨は作亂の意志毫末もなく、只管教徒の蹶起と其の前途を憂へ、結局は其身に累を及ぼすべきを慮り、孫秉熙、吳知泳等を忠清全羅の地に派し全琫準、金開南等をして速かに解散せしむべく說かしめたが、『既に兵を舉げた以上、騎虎の勢ひ、奈何とも爲し難かつたのであつた

▲此徒は何時の頃よりか『斥倭斥洋』の旗を振り翳し古阜、沃溝、金溝、井邑方面より全州に向ふの途沿道の人民を强要して加入せしめ黃木綿の鉢卷を與へて其の證となし、家宅には白紙に『海月』と書したる票を貼付して入敎の證とすると共に生命財產の安固を保障し、加入せざる者は卽座に慘殺し居宅には火を放つた

▲斯くて東學を奉ぜし者は擧兵に興ずると否とを問はず、一樣に亂徒を以て目せらるゝに至り、海月崔時亨の如きも鎭撫と解兵に力めたるにも拘はらず、亂徒の首魁とされて了つた

▲日淸の戰端開始さるゝや彼等は自ら解散し殆んど其の影を潛め、旣頭たる全琫準、崔環善、孫和中、金開南の如きも戰死又は被へられた

▲此の巨魁中全琫準は當時朝鮮に於て最も傑出した人物で、天佑俠を率ゐて居つた武田範之和尙は其の人物を惜み、屢々書を送つて日本への亡命を勸めたが聽かず、竟に捕へられた。投獄後公使井上馨伯も之れが助命に盡力したと傳へらるゝが、後竟に京城で死刑に處せられた。

▲崔時亨は其身危きを知るや江原道原州郡稚岳山に隱れて居つたが、搜索益々嚴しきより、孫秉熙に義庵、金演局に龜庵、孫天民に松庵の號を與へ且孫秉熙を大道主（繼承者）となし東學の眞訣を傳へ事實上隱退した。

▲明治二十八年、崔は稚岳山に捕へられ三十一年（光武二年）六月二日京城にて死刑に處せられ、孫秉熙は支那に逃亡し、留まること三年、轉じて東京に隱れ、李祥憲と稱し、金演局は三十四年六月公州の鎭兵に捕はれ京城の獄に幽囚され、三十七年日露戰役開始に際し放たれた。

蠶況

忠南春蠶の掃立

忠南春蠶掃立の豫想は南部大田、論山、舒川、扶餘の各郡は五月五日頃中部公州、燕岐、靑陽地方は八日乃至十日頃にして北部唐津、瑞山、洪城地方は十三、四日の見込なり本年掃立枚數を郡別に示せば

郡別	內地種	支白種	交黃種	計
公州	二、八六八	九五	五〇一	三、四六四
燕岐	一、二〇〇	三〇〇	……	一、五〇〇
大田	一、一三六	一七	四五	一、一九八
論山	八五三	一七一	九八	一、一二二
扶餘	一、七〇〇	二一〇	一〇〇	二、〇一〇
舒川	一、五二三	七〇	七〇	一、六六三
保寧	一、四〇七	一六二	……	一、五六九
靑陽	一、八五五	一五八	一〇五	二、一一八
洪城	一、八九五	三三三	一〇九	二、三三七
禮山	一、六八六	三六八	一三七	二、一九一
瑞山	三、〇四〇	三〇一	……	三、三四一
唐津	一、四五〇	一五〇	……	一、六〇〇
牙山	一、六六一	三六〇	一二〇	二、一四一
天安	一、〇〇〇	四〇〇	……	一、四〇〇
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

商況

東京現株中値

◉二十九日中值　東株 七三五〇　朝鮮銀行 一七六、〇〇　南滿鐵道 一五二、〇〇　同一新 一一七、五〇　同二新 七五、五〇　京城電氣 五四、五〇　同新 一九、五〇　南滿製糖 二五五、五〇　朝鮮瓦斯 一八、五〇　郵船 一六二、五〇　同新 一一三、〇〇　商船 三三〇、五〇　同新 一一三、九〇　鐘紡 一九七、五〇　同新 二七七、五〇　東株 三三六、〇〇　同新 三三七、五〇　朝鮮興業 …… 日石油 一〇五、〇〇　同新 四九、〇〇　成業取引 一〇五、五〇

東京株式特電

◉二十九日後場引値　廿八日休

東京期米商電

當限寄付　中限寄付　◉二十九日後場　寄付 ……　高値 三三、〇六　安値 三二、八九　止め 三二、〇六　三十日前場 三二、九四

大阪株式特電

◉二十九日後場

大阪三品特電

◉二十九日前場　綿布三品　十一圓七十錢　四〇九四〇

大阪期米特電

五月限　六月限　七月限　八月限　九月限　三五五、一〇

神戸期米特電

◉三十日前場　寄付 三三、〇〇　三十四圓二十九錢　◉二十九日後場　三三、一五　三三、〇六　三四、〇八

下關期米特電

◉二十九日後場（盤）新甫七月限錨花にて無鞘見當

新甫無鞘

◉三十日前場　理想賣務め

京城現株標準値

仁川取引所　同新權利　朝鮮電氣　朝洋皮革　東洋畜產　朝鮮紡織　殖產銀行　朝鮮郵船　朝鮮製紙　朝鮮土地　朝鮮製粉　（排込値・現相場）

雜報

◉白米移出活況　大阪沖著四十二圓五十　錢迄出來　更に二三十

內地正米は益々好勢なるが如く各方面よりの注文殺到し來るのみならず値段も一類毎に高値を移し今朝は仁川白米にて四十二圓五十錢の當地白米は四十二圓三十錢內外に當り更に二三十錢迄出來したりとさへ傳へらる

◉錢方の上値　元山方面　打拔ん勢　尙四十圓

一時荷罔へなりし元山方面も今漸く持米減退し此處彌々新穀の上向き氣み漸きと共に各精米所共頗る腰强く市中仰世も前日來更に三十錢方を引締め今朝は十九圓八十錢を唱へられ尚四十圓近く引上げの止むなきに至らんが如く認めらる

◉正米は小高し　二十錢方を持直

正米は依然買物豐富なりと雖も移出白米注文の好況に連れ精米筋の原料買崩しあると新規買越多からざる上現下持米が高値摑みにある關係上安値は買物少なくとかへつて必需筋に氣配を高めんとする成行きを示し今朝は前日に反し相當二十錢方を持直したり

◉撫順炭愈値上　塊炭五圓、切込炭及粉炭は共に四圓三十錢方の値上實行

◉綿糸布漸騰　粗布の如き三百八十圓迄

◉南大門廻穀　沙里院大豆一〇八叺、同水原豆二一六叺、沙里院豆四〇叺、仁川栗四八六叺

◉新茶漸次出廻

◉支那粟脫合　裏面の氣分

◉六十四五錢　殘品持倦

◉空罐と空瓶

◉要新鐵に向ひ　一般の需

◉鐵は持合ひ

◉銑鐵は底堅し

◉形跡　盛んに買占　氣配强硬

◉銅依然强硬

◉亞鉛市況頭打

呼ぶ三エス三百二十圓　綿糸

期米雜觀

▲理想賣尙早か　▲賣買の正米如何に歸著　▲買方全滅の期　▲鮮米の輸出力は二百萬石乃至二百五十萬石　▲理想賣の尙早　▲軟質米と人氣

靑物市場

下關相場

仁川正米市場

人氣益々强　買方も手控　振合

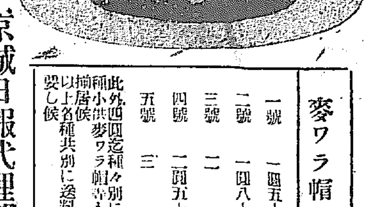
釜山正米

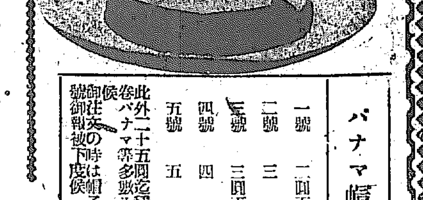
◉三十日　三十錢安

生魚市場

各地米況

◉群山（二十八日）　◉木浦（二十八日）





御會葬御禮　隈部信　親戚一同

流行形　パナマ　麥ワラ　帽

麥ワラ帽　一號 一圓五十錢　二號 一圓八十錢　三號 二圓　四號 二圓五十錢　五號 三圓

此外四圓迄種々別に各種小供麥ワラ帽等も取揃居候以上各種共別に送料を要し候

パナマ帽　一號 一圓五十錢　二號 三圓　三號 三圓五十錢　四號 四圓　五號 五圓

此外二十五圓迄種々及卷パナマ等多數入荷致居候御注文の時は帽子の番號御報被下度候

京城大平通　京城日報代理部　振替京城二〇〇番

陸軍御用　各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候　萬一當店に品切の節は本店へ御注文願上候

朝鮮京城本町　津村兄弟商會　電話一四八〇番・一八七〇番　振替京城三五一一番（電略ツ又はツム）

日本名刀傳 卅二

東京 田邊南龍講演

伊勢太郎正俊（十七）

正『綱宗さん、何も心配するには及びません、一時の出來心なればさう責めは致しません、一日も早く癒つてお呉れなさい』綱『正俊さん、年も若いのに何と云ふ優しいお言葉、私が全快したならば改めてお前さんの弟子にして戴き、陰ながらお前さんの業を助けますから、どうか今度のことは勘辨して下さい』と惡に強き者は善にも強く、全く後悔の色顔に現はれ、涙を流して詫入りました、正俊は其後朝夕に綱宗を介抱し、一日も早く快方に赴くやうにと神佛にも祈りましたので、綱宗も思つたよりは早く疵口も癒かり、二十日程でそろ／＼起上られるやうになりました 正『綱宗さん、もう直歩けるやうになるから、氣を丈夫にもつてお呉れなさいよ』綱宗は首點垂れて唯ホロ／＼と涙を流す許りであります、稍あつて綱宗は『どうか正俊さん、私を恨まないで下さい、私はお前さんの弟子になつて是から働きます』正『恨むどころではありません、私が下緒を確かり結んで置かなかつた許りに飛んだ怪我をさして濟みません、お氣の毒に思つて居ます』綱『お氣の毒どころか全く私に罰が當つたのです』と是れから正俊、綱宗の兩人は眞の兄弟も及ばぬ程親しい仲となりました、其の中に綱宗も幸い疵が急所を外れて居たので全快して床を上げました、が、恐ろしいもので頬から咽喉へかけて大きな疵の跡が歴々と付きました、是れから綱宗は兄弟子ではありますが、改めて正俊の門人同樣になつて熱心に業を勵きましたので、後年天晴なる刀鍛手となりました、其の内に正俊は愈々腕前が勝れて來ましたので、茲で鎌倉稻村ヶ崎に新宅を構へ、約束だけは此家で致してありますがまだ[illegible]は此家へ呼寄せず、貞宗の許に預けてあります、正俊の方にも弟子が二三人出來刀の註文もなか／＼ございます、從つて正俊の名は都迄聞ゆこいはれるが悴の正俊の方は如何日本全國にも擴まるやうになり、父の村正は刀に邪氣がある惡劍だにも優しい切れ味で何とも言へぬ手法、二代の正宗といつても然るべしだと人々から賞美されまする、然るに此度京都なる左大臣頼通公より御沙汰があつて、諸國より刀鍛冶の名人を集め、禁裏に於て一振宛鍛たせて、其中の最も優秀た一振を畏れ多くも後小松天皇の御守刀と遊ばすに依つて、右御劍を鍛ちたしと思ふ者は上京せよと云ふことでありました、刀鍛冶として此上もございません、夫々諸國より願ひを上げて上京致す者が大分ございます、貞宗、秋廣兩人へも此の御沙汰が下りましたから、悦んだのに二人でございます、所が貞宗は最早老年で秋廣に代を讓つて居ります、然らば九郎次郎秋廣が上京致すべきなれども、折柄病氣で參られませんから、兩人相談の上正俊を招きまして『貞』時に正俊、今日お前を呼んだのは外でも無い、今度京都から畏きお方樣の御佩刀を鍛へる爲め諸國から刀鍛冶を集めになつて、禁裏に於て一振宛を鍛はさして其内一番出來の良いものを御採用になるとのこと、で、私等二人へ御沙汰があつたが、私はもう老年、代を秋廣に讓つて居るから、お役に立つまい、また秋廣は間が惡く病氣で參られず、どうしたら宜からうと種々考へたが、お前より外に遣る者はないと思ふから、どうだ一つ往つては呉れまいか』聞いて正俊は飛立つ程に悦んだのは、自分が鎌倉へ修業に來たのも、もとは父村正の遺言で、一生に一度は畏きお方樣の御守り刀を鍛ちたいばつかり、今度幸ひにも時機到來して自分が京へ上ることになれば、父の遺言を果すことになり、又刀鍛冶として此上も無い譽だけれども、それでは私が參りませうと直返事するのも師匠に失禮にもなるし、他にも兄弟子が居ることだから一應は辭退しました。

牛乳 御用 朝鮮ホテル 成歡病院 京城東四軒町 岡野牧場 電話一六〇九番

京城明治町二丁目 たまや出張店 電話一二九六 京染 呉服

◎安東線と電話 滿鐵の獨力經營か

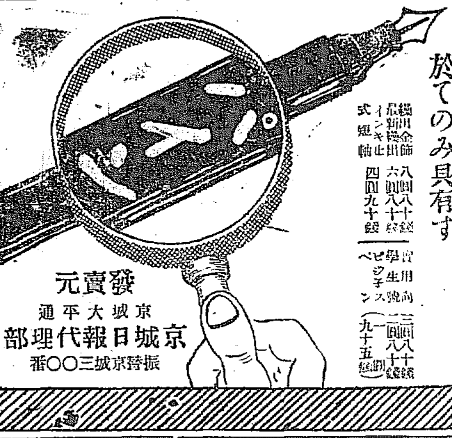
屢々報道したるが鳳凰城に於ては幾に日支合辦にて電燈事業を經營すべく計畫するものありしも支側との交渉纏まらざりし爲め支那人側獨力にて銀八萬元を資本とし電燈電力供給を目的とする一公司組織の事に協議纏まりしも出資意の如くならざる爲め到底成立覺束なかるべしとの事なるが電氣事業の成立如何に拘らず滿鐵に於ては鷄冠山驛に發電所を設立し附近各驛に電燈電力を供給し及び之を鳳凰城に延長せしめ安東より送電して同方面一圓の各驛に點燈する事に決定し目下設計中の由なるが遠からず其の實現を見るべく其の一著手として給水塔及び五龍背へは安東より送電する事となるべし（安東電）

五月二日

（舊）四月三日 金曜日▲きのへさる▲三碧 暗劍東▲赤口▲牛▲ひらく

▽三碧▲兎角油斷のなり難き日也
▽四綠▲午後より運の向いて來る兆あり、されど傲慢なれば不可也
▽五黄▲目上の引立てに遇ふか又は金錢の手に入ることある日なり
▽六白▲可もなく不可なき日なり
▽七赤▲午前中は好く午後は凶也
▽八白▲慎む上にも慎むべき日なり
▽九紫▲喜びごとのある日にして心正しければ幸せを受くる事あり
▽一白▲何か好きことのある日なり、されど妄進する事を慎むべし
▽二黑▲午前中好きも午後より心の中に何か迷ひを生ずる事あらん

內科 小兒科 入院隨意 小林醫院 京城旭町一丁目（電話六九二番）
院長 醫學士 小林千壽
副院長 東北醫學士 戸川武
永登浦分院長 醫師 久保廣次

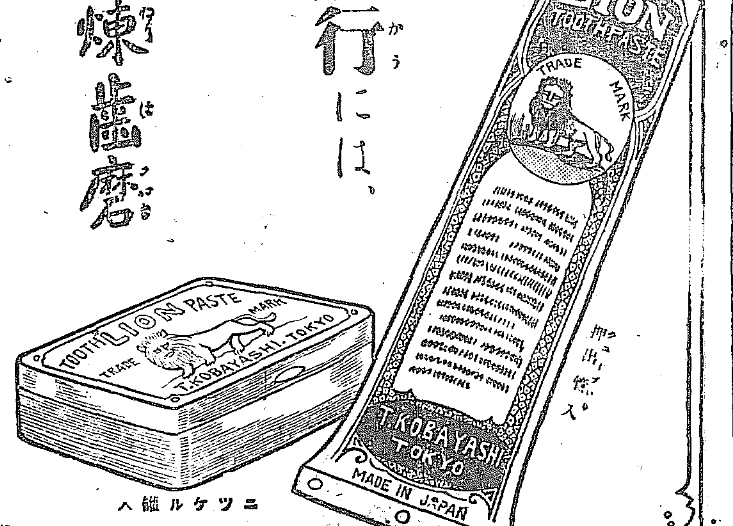

優美にして堅牢且輕便と云ふ條件は獨りパイン萬年筆に於てのみ具有す
鍍金飾 八圓八十錢 最新式 六圓八十錢 インキ止式短軸 四圓九十錢 實用向 三圓八十錢 學生用 一圓八十錢 ビジネス號 一圓九十五錢
發賣元 京城大平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

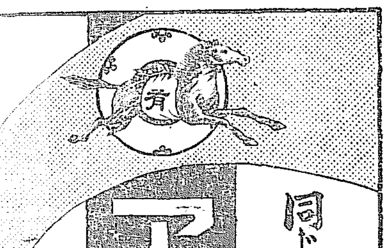
眼科專門 入院隨意 京城明治町二丁目五十六番地（宇治屋茶舗横入ル） [illegible]眼科醫院（電話一三二六七番） 荻原長藏

宮內省御用達 サクラ正宗
兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造
櫻正宗櫻魂發賣元 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話長八四九番 振替口座京城一四五四番

男女生殖器病
發育不完全、包莖、陰萎、早漏、神經衰弱、淋病、子宮病不姙症、こしけ等は專賣特許[illegible]器で自ら[illegible] ハガキで照會あれ圖入說明書無代送す 東京神田カヂ町五 電話神田七一二 東京[illegible]法研究所

服部博士・桑原博士・林博士・辻博士 岡田教授・小柳教授・中村教授 解題□專門諸學者執筆
有朋堂文庫續輯
對譯詳註 漢文叢書
全四十冊□會員大募集
▽著明の漢籍を網羅し▽上欄原文下欄譯文▽譯文には假名を施し▽難語句を精註詳解す▽解題亦天下の一品□內容見本。御申込次第郎刻拜呈萬端の事項それによりて御承知被下度候
申込所 東京神田錦町 有朋堂 電話神田二六四〇・二六四一


春の御旅行には、香味さわやかなるライオン煉齒磨をお持ちあそばせ。
ニツケル罐入 押出袋入
ライオン齒磨 ライオン石鹸 本舖 東京市本所區 株式會社小林商店 支店 大阪市 名古屋市 上海 香港 天津 [illegible]


同じ召すならホンモノを アリマサイダー
絶大なる殺菌消毒機にて一本づゝ完全に謹製致居候間數年間の貯藏にも堪へ得べく候

りん病 急性慢性を問はず 博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治速なり 藥價一圓四十錢、二圓七十錢四圓、送料不要
ルーデサツク 特製品 A十個五十錢 B十個七十錢 廿個九十錢 廿個一圓三十錢 女用一個八十錢 變形一個七十五錢 郵券(二錢)代用一月[illegible]以上 料不要 京城黄金町三 振替京城三七二二 山田文殊堂藥房

李王職御用 模範牛乳 ニウソ 石鹸洗粉 場主 獸醫肥塚正太 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五二番

五光商會汽船出帆廣告
◎元山西湖、城津、淸津行 第三[illegible]丸 五月五日 元山發
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三[illegible]丸 五月七日 元山發 四月[illegible] 釜山發
釜山 大池回漕部（電話二二三） 元山 田口回漕店

共同汽船仁川出帆
大連行 第二共同丸 五月一日 午後入港 二日正午出帆
之罘直行 第十一共同丸 四月 日 午前入港 日 午前出帆
青島直行 第六十共同丸 四月 日 午後入港 日 正午出帆
大連直行 第二十三共同丸
大連にて滿鐵沿線、青島行定期船に接續し荷客共通扱
仁川代理店 本町四丁目 河野回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

大阪商船汽船出帆（仁川出帆）
△大阪行 △安東丸 五月一日 正午出
△鎭南浦、大連行 薩摩丸 五月二日 正午出
（元山出帆）
◎浦潮行 ◎宮島丸 五月一日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 ◎安平丸 五月二日 後九時出
（大連出帆）
◎上海、打狗行 ◎湖北丸 五月五日 前六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 毎月一回 北米行 毎月二回 南米行 四年一回 孟買行 毎月一回 南洋行 毎月一回

△雄基行 京畿丸 五月 日 元山發
△雄基行 雄基丸 五月 日 釜山發
△元山雄基線 鏡城丸 五月四日 元山發
△大阪行 越後丸 五月六日 元山發
△關門行 咸鏡丸 五月十五日 釜山發
×京畿丸 五月 日 元山發
△濟陵島行 釜山發 浦項及各地經由 五月四日
△濟州島行 五月 日 釜山發
△木浦行 江田島丸 五月二日 仁川發
△多島海行 木浦發 多島海各島行
△鎭南浦行 仁川發 各港經由
△大連、青島行 江原丸 五月三日 仁川發
本社 京城南大門通 電話二一二二
釜山 元山 仁川 木浦 京城 釜山出張所 元山支店 仁川回漕部 山野回漕部 松原運送店 其他各寄港地ニ荷客取扱店

◎日本郵船仁川出帆
大連、天津、牛莊行 新瀉丸 四月 日 正午出帆
◎船客搭載セズ 高砂丸 四月 日 正午出帆 高千穗丸 四月 日 正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ 仁川海岸町一丁目 電話十番 郵船回漕部

尼崎汽船仁川出帆 群山木浦下ノ關大阪行
赤城丸 四月 日 後四時出 第二運輸丸 四月 日 後四時出 神代丸 四月 日 後四時出 秀吉丸 四月 日 後四時出 君が代丸 四月 日 後四時出
仁川海岸通一丁目（電話五九番） 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
△敦賀行 天候朝鮮郵便物ノ爲メ發着日時變更スル場合有之候ニ付詳細八本社又ハ各地支店出張所代理店ニツキ御承合被下度候
立神丸 五月七日 淸津發 五月十日 元山發
△浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津經由 平壤丸 五月 日 釜山發 五月四日 元山發

[illegible]（京釜線・京義線・京仁線・馬山線・湖南線・京元線 列車時刻表）

京城日報

定價 一箇月金六十五錢 …
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢 …
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯局 … 營業局 … 振替京城三〇九番

伊太利の脫退と山東の將來

在東京 吐峰生

◇初めより決裂を豫想された講和會議は、果して伊太利の脫退を見るに至つた。これ伊國がヒューメを得ず倫敦密約が四國會議の蹂躙する所となつたからである。◇米國大統領ウイルソン氏が、自ら最高審判者を氣取り、アドリア問題に就て決定的說明を公にしたが、伊國が之に對して益々憤慨の度を高めたのは當然と謂はなければならぬ。ウイルソン氏の正義人道は自分本位の正義人道であつて、他國の立場を察し、世界の正理公道に合致せん事は、氏の徹底も考慮せざる所である。◇無論伊國側にも多少の貪慾がある然れども英國が獨領殖民地の大部分を掠め佛國がザールを要求せるに比すれば、伊太利の希望は寧ろ過小のものである。況んや英佛兩國は伊國を參戰せしむべく、夙に一種の密約を締結せるをや。即ち伊國の要求は該密約の延長にして必ずしも不當と謂ふ事が出來ぬ。◇吾人は伊太利の脫退に際して、二個の重大なる敎訓に接した。第一は國際條約の紙屑に等しい事こ、第二は正義人道の破綻である。聯合國の大政治家は、世界の永久平和を强調し、之れが爲めに國際聯盟の製造に取掛つたが、國際條約を蹂躙して顧みざる事一片の反古にも如かざる事實を示しつゝある聯合國は、自ら國際聯盟の成立に裏切るものである。彼等は少くとも國際條約の嚴肅性を蹂躙して、其効力を無効ならしめた活敎訓を示したのである。故に聯合國は最早國際條約の尊重を唱へ之れが履行を迫るの資格無きものである。又彼等の唱ふる正義人道は、自國の都合の爲めに他國の利益面目を犧牲に供する正義人道論であつて要するに强者の權利である。弱者の正理公道は弱者自ら之れを保護せざるべからざる事實的證明を與へたものである。◇英佛兩國は頻りに伊太利の慰撫に努めて居る、けれども伊國の主張は絶對にウイルソン氏の聲明こ一致するものでない。伊太利は結局ユーゴー、スラブと開戰し、獨墺と單獨講和を締結するに至るやも知れず、而して歐洲の天地再び戰雲の鎖される懸念無きを能はやである、而して若し之れが責任を糺すものあらば無論三國の巨頭其者の責任に歸せねばならぬ。◇伊太利のヒューメこ同樣の立場に在るもの我が山東である。否我が山東は歐洲問題の夫れに利害られた傾きが無いでもない。然し英米代表者の日本に對する態度に伊國に對する夫れに酷似したものがある。山東を日本より掠ぎ取り之を支那に售りて報償的利權を支那に占めんとするもの、蓋し英米の底意也と觀はれるのである。彼等が不合理なる支那委員の主張を支援し、日本委員の焦慮を輕視しつゝあるは裏面に何等か一物無くては叶はぬ沙汰である◇併しながら帝國の剛顔は確定し山東の手放し得ざるは伊太利のヒューメに於けるが如き比でない、我は一切の手段を盡して我が主張を强調し、已むを得ずんば國際聯盟の調印を拒絕し、講和會議を脫退するも辭せざる決心である。無論政府の訓電は我が委員の手許に到達し目下必死の奮鬪を盡しつゝある筈である。果して日本が支那の主張を粉碎し、三國代表者の要望を一蹴して帝國の主張を貫徹したならば井は却つて帝國の世界的威嚴を加ふる者として最も好都合の期待を表せられて居る(四月廿六日)

露獨の接近(三)

戰後獨逸の外交策=十年後の露獨=歐洲の威嚇

三月十日在巴里 本社特約員 上田碩三

是に於てか余は曰く獨逸に對して其の罪惡に相當する賠償の責任を負はしめ且つ適當なる制限を加へたる後能く其の分に安んじ且つ其の變更されたる世界の新形勢に適合し以て其の生活を樂み得るの途を講ぜよ又露國に對しては永く英國及び米國の友邦として生存し得る樣其の途を講ぜざるべからず而して余は此の提議を特に英語國民の前に提供して熱誠なる其の考慮を促す云々

◎チャーチル氏の所論は之を要するに露獨兩國に於ける過激派勢力の益々猖獗を加へ遂に國境を認めざる過激派の病毒が露獨を結合して一體となし以て世界に對する一大威嚇を形成せんとするの懼れあるを指摘せるものにしてチ氏は更に他の演說に於て此の憂慨が今日此の際に於ける聯合國の相結束ある斷乎たる政策に依りてのみ緩和し得らるべきを說き且つ間題の急なる一日の躊躇は百年の誤りを醸成するの結果を奈何、彼に都合よき條件を課せんか戰勝の榮を奈何定に勝利者たることを夫れ斯くの如く難き哉、更に對露政策が巴里會議劈頭の問題こして議せられたるに拘らず既に六旬を經過して尙決せざるものゝ、固より他に一大原因の存するものあるも之亦徒らに策を施して他日復活せる露國民の反感を買ひ又徒らに過激派の亂暴を煽動するが如き結果に陷るを慮かれる結果に外ならず若し夫れ斯の如き狀態に於て結ばれたる歐洲の講和は固より人力の及ぶ限りの善の方法を以てさるるも難も、獨逸の關し、露國の關すら限り尙幾多未解決乃至新問題の踵を接して簇生するあるを免れずこは今尙歐洲政客の心頭を刺戟して止まざる所なり(完)

和水野詞兄見示之韻　持地東□

浮世無由服赭霞。邊愁笑我鬢添華。人間得喪付周夢。植杖還尋賣酒家。

城西隱退對煙霞。蹈跡林園避世譁。料識明時寬賢急。徵招應到讀書家。

遊日泉亭　服部江南

南山之麓漢城東。幽境一區蹊自通。亭是甘泉花百樹。滿園紅紫醉春風。

雜誌抄

◇寫眞の發明家　寫眞は西暦一千七百六十五年佛國シャロン、スール、ソーヌに生れたジョセフ、ニセフォール、ニエプスと云ふ人に依て發明されたので、ニエプスは最初の研究に着手したのは一千八百十三年からであつた。ニエプス最初研究した問題は[illegible]密閉した箱に唯一つの小さな穴を開けせしむる事であつた。此の箱の中に光線が交叉して其の穴から光線が映射した此の光の象を小部して逆に寫つたのである。續いて一千八百二十四年に到りニエプスは[illegible]物象を附着せしむる問題を研究し、所謂今日の寫眞術の祕けるたのである。(拂許)

財界の新人(93)

鹽川孝吉君

殖產銀行普通營業課長

西海生

殖產銀行の活動は儘に京城金融界に刺激を與へ、各銀行間に於ける競爭の倍加こなり、その勉强を增さした。記者は財界のために殖銀の溌溂たる生氣こ、進取的な營業振りを多さする、その結果他の銀行より兎角の批難を受くる立場にあるは蓋し止むを得ないであらう。然し憎まれ兒世に蔓るの假令に洩れず漢湖農銀が殖銀となつて尙ほ七個月を過ぎざるに拘らず早くも本店營業の實績は、前身たる漢湖農銀時代に比し仕事に於て十倍、數字に於て五倍の躍進を示してゐる

▲殖銀の營業當局として、波瀾を四方に及ぼし、頻りに各方面に攻勢をとり、敏腕を揮ひつゝあるは普通營業課長の鹽川孝吉君である、君は實に各銀行營業當局より注目の焦點となつてゐる、善い意味に於ても、惡い意味に於ても君は金融界の問題の人であり、又名物男となつた、それだけ君の手腕こ頭腦は拔けてゐる譯である、唯少しくやゝ過ぎる氣味はあるらしい、兎に角手も八丁口も八丁の男さていくらか手がアチコチに延びすぎる、口を利きすぎる、そこに誹謗をつくる人はあるやうだが、銀行家としての手腕は殊に創設的進取的の現役方面に於て、君の前に立ち得る者は京城にも恐らく指を折る程はあるまい

▲長野縣の出身で、明治十三年の生れ、夙に銀行界に身を投じ、金融業務は大小となく通曉してゐる日露戰後第一銀行に入り、朝鮮勤務となつたが、鮮銀創立の際同行に引繼がれ、爾來各地支店の次席を歷任、後國庫課長たり、中村理事系統の人で、昨年十月殖銀の創立こ共に普通營業課長に就任した、普通營業課長は京城に於ける商業金融を統轄する地位である、爾來殖銀の堅實の堅確を背景こし、君の營業方針の快腕辣手が動き出し、着々實績の順調に進むこともに、が尊つて來た譯である

▲一年の間に前額が既に薄くなり、鬢を長く延ばしたりしてゐる、顔に多少羅助式の所があつて、笑ふこ觸合に愛嬌を藏してゐる、云ふ事もする事もハキ〱してゐて、大いに得要領な所が此人に接した第一印象であらう、性格は流石先進中村光吉君こ類似の點少からず、中村君の君に對する信任は餘程厚いやうである、活動も進攻も好いが、少しくその鋭鋒を包み今少しく露骨ならざる態度をこつたらさんなものかこ云つてゐる者もあるやうだ、仕事を拔かりなくするやうに、友人や部下の面倒もよく見る人らしい、要するに君は今日京城財界では逸すべからざる人物であらう

實用叢書 是丈は心得おくべし

加藤美侖先生著

◇出版界の偉觀!! 白熱的歡迎!! 讀書界の人氣を獨占しつゝある

本叢書發刊について

[illegible]

◇內容充實!! 便利重寶!! 空前の大廉價を以て提供せる

本叢書の特色

[illegible]

實用叢書第一編 好評嘖々重版 廿八版
社交要訣 是丈は心得おくべし
內容目次
▲一般の作法も是丈は心得おくべし
▲四季食卓の作法も是丈は心得おくべし
▲訪問及接客も是丈は心得おくべし
▲日本式婚禮作法も是丈は心得おくべし
[illegible]
其他

紳士處世の虎の卷

實用叢書第二編 好評嘖々重版 十五版
日常法律 是丈は心得おくべし
內容目次
▲金錢貸借に就ても是丈は心得おくべし
▲家屋賃貸借に就ても是丈は心得おくべし
▲土地建物に就ても是丈は心得おくべし
▲親族相續に就ても是丈は心得おくべし
[illegible]

運用自在 安全第一

實用叢書第三編 好評嘖々重版 十五版
演說座談 洒落滑稽 是丈は心得おくべし
內容目次
[illegible]

口舌の妙 世渡の道

實用叢書第四編 好評嘖々重版 十一版
日常生活 家庭寶典 是丈は心得おくべし
內容目次
▲家庭衣服に就ても是丈は心得おくべし
▲住宅及器具に就ても是丈は心得おくべし
▲臺所に就ても是丈は心得おくべし
▲家庭的化學工業に就ても是丈は心得おくべし
[illegible]

便利經濟 實際知識

實用叢書第五編 好評嘖々重版 十一版
保健衞生 素人醫學 是丈は心得おくべし
內容目次
[illegible]

强健治病の安全第一

實用叢書第六編 四月廿日發賣
書畫骨董 建築裝飾 是丈は心得おくべし
內容目次
[illegible]

一通人たるの道

定價各金八十五錢 送料各冊金六錢宛
各冊三六版 總布製美本
發兌 東京神田錦町一の十九 誠文堂 電話神田二六一〇 振替東京六二九四番

特約大販賣所 京城本町一丁目 岩松堂書店 ◇ 大阪屋號書店 仁川宮町 岩松堂

新演藝 五月號

芝居小說
明治座の 三莊太夫 楠山正雄
市村座の 新薄雪物語 仲木貞一
大阪中座 出世景清 渡邊霞亭

口繪 石版十色刷一枚 三色版三枚 二色版二枚 玻璃版一枚 網目版[illegible]

△大平洋上の喜劇 松居松葉
△問題になつた松王 伊原青々園
△幸四郎の酒 田村西男
花吹雪春諷(木隣の雁治郎上演川端邊題の大阪浪花座五月狂言)…加藤月來庵
◎帝劇の「一の谷」
◎東海道芝居見立繪 水島爾保布
川崎…久保田米齋
神奈川…山崎紫紅
△劇場茶話…小山内薰
△花舞臺二長町…岡鬼太郎
△京都より…久保田万太郎
△河内屋の掛け聲…吉井[illegible]
△大阪演藝風聞錄…玉谷五十鈴
△色眼鏡の芝居…池部鈞
△所作事是々非々…町田博三
△樂屋風呂…川尻清潭

定價六拾錢 郵稅[illegible]
東京芝公園 玄文社 振替東京一四一七七

▲蠶種 ▲蠶具 ▲桑苗 ▲洋燈

龍山驛前 東亞蠶絲株式會社京城支店

日支一代交配種、朝歐一號、又青、青熟等皆本社特約生産品にして保證付

蠶箔、蠶莚、蠶網を始め養蠶、蠶種製造上に用ふる蠶具、器械豊富

長電話龍山一三五番

振替口座京城五一一九九番

魯桑、接木、實生、砧木、接穗何れも優良品多數あり

最新發明に係る下向ランプ各地需要家より大好評を受く、多數落荷

(蠶種賣名を限り特約店募集す)

定價表御入用の方は御照會次第進呈す

◎廣告

撫順炭各地販賣値段持込賃共

市場	炭種	一噸賣値	一叺賣値(十四貫入一屯)
鎭南浦	塊炭	一四、七〇	一、九五
	切込炭	一三、〇〇	一、八五
	粉炭	[illegible]	
平壤	塊炭	一四、三〇	一、九五
	切込炭	一三、六〇	一、八五
	粉炭	一二、八〇	
京城	塊炭	一五、〇〇	二、〇〇
	切込炭	一三、三〇	一、九〇
	粉炭	一二、五〇	
仁川	塊炭	一五、五〇	二、〇〇
	切込炭	一三、八〇	一、九〇
	粉炭	一三、〇〇	
元山	塊炭	一六、〇〇	二、〇〇
	切込炭	一四、三〇	一、九〇
	粉炭	一三、五〇	

五月一日ヨリ右改正値段實施可致候

但京、仁地方ハ炭線上撫順炭供給困難ニ付キ日本炭買付供給可申上哉尙此場合日本炭價格ハ別ニ發表可致此段及御案内候也

南滿洲鐵道株式會社
京城販賣課出張所

春雨咽ぶ豊島ヶ岡
故竹田宮殿下御葬儀

竹田宮恒久王殿下御葬儀は三十日午前執行せられたり此日高輪御本邸にては午前二時といふに孰れも御起床三時半頃相前後して御參著相成り東久邇宮、北白川宮妃、朝香宮妃各殿下ご共に權舍に入らせ四時に至るや井上葬儀掛長、山口司祭長、仙石宮内事務官以下掛員奉床柩前祭の儀行はる山口司祭長祓詞を奏し喪主恒徳王を初め妃昌子内親王、禮子女王並に各皇族殿下其他權舍に於ける最後の御禮拜あり式を畢らせ給ひ同五時靈柩を御車寄せの靈輿に遷御しまゐらす折柄春雨濕やかに至り久邇、御旗を悔みまゐらすに似たり斯かる裡に葬列の準備整ひ

昌子妃殿下には最後の御見送り

遊ばさる爲め禮子女王殿下の御手を曳かせられ玄關に立ち出でさせらる、髪は飾無き御垂下げに結はせ給ひ御悲嘆と御心勞とに面窶れさせ給へるも長く御傍には近侍の人々居並びて涙に咽べり、斯くて五時三十分伶人奏づる迎樂、越天樂の哀調切々として起れば鈍色の衣冠、祭服、裁装の佐々木司祭副長、山口司祭長前行し次に兩陛下ら初め宮、各皇族殿下奉供の御榊次に十二人の樂人を隨へ深山竹田宮附事務官進み更に故殿下御在世の御胸に輝きたる勳位菊花章を初め幾多の勳章を捧げたる武官を前にして御靈輿は進ませらる、御遺愛の馬英京は北村屬に牽かれ井上々に御陪附武官の次には御喪主恒徳王殿下馬車に召されて隨ひ給ふ波多野宮相其後に扈從し妃殿下、女王殿下には御馬車にて別途豊島ヶ岡に向はせられたり、豊島ヶ岡葬儀場には八時三十分先著の諸員參集し葬場を御祓し九時十分

御著ご共に靈柩は正面に安置

され向つて右側には山口司祭長以下各司祭、親任官、勅任官、有爵者、貴衆兩院議員、又左側には伶人、勅使清水侍從、皇后宮御使三條主事、東宮御使戸田主事、御喪主恒德王、妃昌子内親王、禮子女王、各皇族、王族、葬儀掛諸係員、親族、故舊者等著席、伶人の奏樂裡に山口司祭長祭詞を申し勅使、皇后宮、東宮御使、御喪主、妃、女王殿下を初め各宮順次玉串を捧げられ式畢り靈柩は御壙穴に進御、斂葬の儀あり御喪主以下殿後の御禮拜ありて午前十一時半茲に全く御葬儀を終らせ給へたり（東京特電）

聯盟修正案内容
講和會議總會に提出

廿八日午後開會の講和會議總會議に提出されたる修正國際聯盟は前文に國際間平和の爲め之を規約する旨前提し第一條に加入ご脫退を規定し第二條以下第五條迄に執行委員會を規定し第六條に常設書記局第七條に男女地位均等第八條第九條に國防制限第十條第十一條に戰爭防止第十二條乃至第十五條に仲裁裁判第十六條第十七條に共同防敵第十八條第十九條第廿條に新舊條約第廿一條にモンロー主義第廿二條に委任統治第廿三條に勞働法第廿四條に聯盟顧問第廿五條に赤十字第廿六條に批准ご修正を規定し尚追加規定として聯盟創立加入國其他の名を列擧せり（巴里電報）

園侯決心堅し
出發に際し遺言狀を認む

巴里會議に於て日本外交振はず山東問題亦意の如くならざる情勢に在るが此日本外交を代表したる西園寺特使が此の大勢を挽回し得るか又伊國の如く講和會議を脫退して獨逸ご單獨講和をなすの勇氣あるか若くは猶疑入りに終る可きか國民は非常の緊張を以て日本特使の活動に對し電報を重視するに至りたるが西園寺侯の昵懇なる某氏は語る『特使は出發に際し萬一日本の體面を維持する能はざる如き講和を締結するに於ては再び故國の地を踏まざる決心にて既に遺言狀一通を認め其中には講和に對する方針を披瀝したる長論文もあり是れ等の書類は親族なる住友家や徳大寺家に預けられ兩家にて保管しありされば特使は山東問題其他の解決に就て堅き決心を有するは疑ふ餘地無し』（東京特電）

霞ヶ關意氣緊張
山東問題近日中に決定か

山東問題は近日中に決定すべく霞ヶ關は一層緊張の氣分を呈せり內田外相以下連日夜に入り尚巴里全權よりの來電を査閱しつゝあり又各大臣も時局重大なるを以てこの際何時緊急會議を開かざるを得ざるやも知れずごし九州出身大臣全部出席せんとする政友會九州大會も當分延期する事に決せり（東京特電）

…は互に現はる、や市中の狀態にして…來る人入は馬場入の氣勢を添へ既に良馬を…色中の人々二三名に達したり盛なり…なりき

東京現株中値

三十日中値

[illegible]	二三六.〇〇
[illegible]	二二七.五〇
同新	[illegible]
同新	二九七.五〇
新	二七七.五〇
[illegible]	四九〇.〇〇
新	二五二.〇〇
新	一七五.五〇
[illegible]	七三.五〇

和平會議秘密

外務省著情上海和平會議は廿七日日曜なりしに拘らず開會し引續き財政、善後、湖南退烽其問題等を協議し何れも審査中なり尚引續き開議の筈なるが內容は絕對秘密に附せられ假令探知する所あるも發表の自由を有せず（東京特電）

無條約國人待遇

廿七日大總統令を以て、無條約國人に對する待遇法公布されたり（北京特電）

支那の紡績業
鐘淵紡績取締役　藤正純氏談

天津、漢口、上海各地の紡績業の視察を了へ逐次來城せる鐘ヶ淵紡績社取締藤正純氏は曰く今次設立せらるべき朝鮮紡織株式會社の工場地は未決定なる由なるも兎に角

▲朝鮮紡績界 の漸次活躍を呈し來りたるは喜ぶべき現象なり予も曾て朝鮮紡績界に關係すべく同縣の元田氏等に勸說せられたる事ありたるも元來專心一業主義の予は主義の爲に遂に今日迄關係する事なく亦今後も關係する事なかるべき予は最近に紡績業者の支那視察が一種の流行の如くなりたるも要するに彼地の紡績業の盛況を聞き一見せんとするより他せずして相會したるものならん更に角にて十四、十五、十六番の太手物支那紡績業の昨今は非常なる發展が五十兩即ち百餘圓にて賣行飛ぶが如き盛況なり其

▲工場の設備 は良否錘る懸隔ありて隨分不整一なるものもあり右の如き盛況を呈し來りたる原因は英國に於ける東洋方面の需要に對する紡錘四千萬錘が十分の活動をなさず一方支那內地の需要の增進し來りたるに因るならん然しながら當社こしては支那より尚一層有利の印度あるを以て支那この輸出數量比較は印度八對支那二位の割合にて輸出したるを以て各地視察中にも當社商標の製品を稀に見るの現狀なり然らば印度今次の騷擾が吾が輸出に影響する程度如何にご云ふに今次の騷擾は例の朝鮮の騷擾位のもの、如く誇大しく

▲輸出に影響 するが如き事なかるべしご觀ぜらる支那紡績業の分布狀況を見るに上海第一位にて總數百二十萬錘中同地に約八十萬錘あり上海紡績、內外紡績會社等有力なるものなり獨り紡績業ご云はず在支內地人中材幹ある士の多くは空拳の士にして支那人の敬意を拂はしめ難き狀況なるを以て今後は財力ある士の渡支が肝要なり之れ一面日支親善の捷徑ならん

駁論に對へて（五）
京城　閔元植

際、現下世界の變局は自から世界改造の機運を顯現し來れるものにして國際聯盟の成立、軍備制限の實行等に依りて或は永遠の平和を維持し人類の幸福を增進し得るやも知れざるも、能はずご雖も國際聯盟は聯盟の力に依りて敵國を壓伏せんこし、軍備制限は武力の最大限度を定めて敵國の勢力を微弱ならしめんこするものなり是れ果して正義人道を第一義こする誠意より出でたるものなりや甚だ疑はし國際聯盟、軍備制限其ものすら果して能く實現さるべきや頗る疑ひ無き能はず現時露西亞、墺匈國、獨逸等の國內に於ては或は既に政權を樂し或は將に政權を獲得せんこする過激派の勢力を排除し得らるべきや否や之亦豫斷し難き所なりこす、此重大なる世界の變局に當りては朱等朝鮮人たるもの須らく堅確なる主義を確立して不撓不屈の精神を養ひ動搖し易き思想の安定を期し苟くも前途を誤らざるを念ごせざるべからず然り而して斯る變局にある世界の如何に變轉するにせよ唯實力本位の原則のみは到底打破せらるべきものにあらざるべく何れの國家何れの民族ご雖も平素能く自存の實力を培養せざるべからざる所以なりこす予は某氏に告げん世界の改造は小弱國の族生を歡迎するものにあらず國際聯盟も亦小弱國をして光榮あらしめんが爲めの企圖にあらざるを以上は予に對する駁論の理由無きを指摘せるものなるが要するに今次の騷擾は朝鮮人の無識無定見を表白せるもの、如く思惟されつゝあり若米國人にして獨立運動に贊成するものありたりこせば是れ必ずや其の眞意に出でたるものにあらざるべく苟くも世界の大勢に通ぜる文明國人の爭でか斯の如き無謀の擧の不可能事たるを知らざるものあらんや然らば米國人にして斯の如く朝鮮の獨立運動に贊成するが如きは即ち朝鮮を愚弄し利用せんこするものなるや明かなりこ謂ふべし試みに思へ何れの國たるを問はず朝鮮獨立の爲めに日本を敵こして戰爭を挑むものあるべきや一片の甘言に煽動され前後の利害を顧慮せず無謀の擧に出づる如き事は最も愼むべきものこす我が朝鮮人たるもの熟慮深謀以て輕擧妄動を戒め苟くも刑辟に觸れ前途を誤るが如き事なきを期せざるべからず

不足炭の補給
撫順炭の供給減ご對策
生田總督府商工課長談

總督府並に滿鐵會社この間に交涉中なりし撫順炭値上問題は夕刊所報の如く略滿鐵の意嚮通り値上を實行する事こなり滿鐵より發表

▲五月一日 より實施の筈こなれり右に就き生田總督府商工課長は曰く『撫順炭の値上は會社發表の如くであるが既に滿洲に於て五割の値上を實行して居る際朝鮮のみを從來の價格に据置く事が滿鐵こしては甚だ忍び得ざる事情があるので二割五分內外の値上は已むを得ないであらう然し値上も十五萬噸に限る事ごし不足は內地炭を移入し不足量を補塡する筈であるのである然し之は自分の石炭で無い爲め移入に就いて充分の見込はついて居ない然し滿鐵ごして最大極度の努力を拂ふ事になつて居る只此の內地炭の價格に就ては多少希望條項もあるので近日自分は

▲大連に出張 し充分了解を得て置き度いご思ふ尤も滿鐵こしては今後も朝鮮を一の市場ごして時の價格の高低に依て炭價に變動を與ふる如き事無く從來の關係を持續する事を約して居る滿鐵新幹部の交涉等も先般行はれた關係上之等新幹部の責任を待つて交涉するも甚だ必要の事であるが何を云ふにも契約改訂の期限が切迫して居る今日若し撫順炭の供給が出來ないご云ふ事になれば需用者の蒙る損失も少くない右の程度の値上を承認した次第である

▼滿鐵の犧牲　谷川滿鐵社員談

滿鐵にては朝鮮に於ける撫順炭の不足額十五萬噸の補給方法に關しては結局內地炭を買付て補給する事に決定せるが只其の販賣値段に關し總督府は撫順炭並の値段を主張し滿鐵側に於ては內地炭の買付原價を持し其間一致を見ざるにより勢ひ滿鐵側こしては朝鮮の燃料問題の見地より多少の犧牲を拂ひても解決すべき事こなれるが今假りに滿鐵こして內地炭を買付くるこせば假令噸五十錢位の安價に買付け得るこするも尚且つ買付に現金拂をなし回收に二箇月位を要すべく假りに十五萬噸を三十圓にて買ふこしその所要額は四百五十萬圓なるが其の利子及荷役手數其他粉炭こなる品傷み等を加算せば噸當り四、五圓の損失を忍ばざるべからざる苦しき立場にあるも探算を見ず寧ろ燃料問題の立場より之れを忍ぶも止むを得ざるべきか

麥作悲觀さる
滿洲粟好賣行き

降雨少きため麥作の前途は南鮮方面に於て殊に悲觀され居り全羅南北兩道の如きは七步作乃至八步作を唱へられ居るが從つて一時不賣れの狀態を續けたる滿洲粟の賣行最近頓に增加し來り値段も一週間十五圓所を唱へ過般の底値に比し一圓五六十錢方の昂騰を示せり

重役選任決定
仁川取引所臨時株主總會

既報の如く仁川米豆取引所にては三十日午後一時より取引所樓上に於て臨時株主總會を開催し重役選任の件、株式合併の件、學校組合寄附の件、重役責任解除の件、未收入金處分の件の五件中重役選任の件は一日再度總會を開催して附議する事こなれり而して重役選任に就ては目下主腦者を缺き居るも新株拂込期も餘日なく且總督府の意向も同樣なりこの理由にて其の間別に重任の形式を執らず舊重役及び株主委員にて處理する事に決定せりこ

朝鮮皮革決算

朝鮮皮革の七年九月より本年三月に至る決算は目下本社にて整理中にて五月中旬株主總會を開き附議すべし前期の成績は持越不利の處分もつきたる旁前期に比し良好なるべし

窯業創立總會

此程朝鮮窯業株式會社は第一回拂込株式募集を了したる資本金五十萬圓拂込み終了に付十二三日頃創立總會を開會する豫定にて社長には賀田直治氏推されつゝあり東畜朝鮮皮革の關係上容易に就任を承諾せざる如し

東畜の工場

東洋畜產興業會社にては事業の進行に伴ひ所屬工場建設の必要を感じ最近永登浦に二萬坪の敷地を卜し工場建設に著手したるが先づ永登浦朝鮮皮革會社にて研究を續け成功したる膠ゼラチンの製造を讓り受け進んで皮革の調整所を設け倉庫の建設をなし更に骨並に牛肉を材料こする諸種の作業を續くる豫定なりこ

日の入る國々の蠻行
此の哲人の獅子吼を聽け
佛國文學博士　ポール、リシャール氏談（其二）

若し今日に於て此の基督が再び出現したご假定したならば何うであらう吾國の民たる基督は米國に對しては見せ金がないからこて

▲入國を拒絕 せらる・あらう濠洲に於ては英語の試驗を課せられて終に落第の憂目に逢ひ是れ亦入國を許されないであらう若し南阿弗利加に到つたならば下等人種こいふ處から電車汽車の同乘を拒絕せられあまつさへ宿舍に入る事も叶はずして徒らに軒端の上に追はれるであらう彼等が今日に於る有色人種に對する待遇は即ち彼等の最も信仰せる基督に對する待遇であらう即ち彼等の文明は野蠻の文明であるご云はねばならぬ凡そ野蠻とは國民並に人種が

▲高慢ご無智 こである爲であつて此の無智ご高慢程恐ろしいものはあるまい諸君即ち東洋人が曾て西洋人を輕蔑して居た時は即ち諸君の野蠻時代であつて今日西洋人が東洋人を蔑視するのは彼西洋人が即ち野蠻こなつた證據である予は今佛國の一人民ごして日國の爲めに一言ごして頂かん即ち現下歐洲に於ける諸國中に於て我が佛國は獨り人種的偏見の爲めに煩はさる、事の極めて僅少な國である往時より自由平等を叫んだ國であるだけに今や國民の自由平等を高唱しなければならぬ秋に遭遇して居る國である

▲人種的偏見 をなすに就ては佛國元來の精神が餘りに偉大である事を予は茲に明言したい即ち佛國は平等の國である印度人をも多く入國せしめて居る而も我が議會には黑人の議員をさへ有して居るのであるが其印度人に對する我が佛國民の態度は實に寛大平等である而も這回の戰亂に於ける佛國民の死傷者は實に甚大であつた此際に臨んで否此後に於ても國民激減の佛國こして如何にして是れ等印度人を排斥する事が出來るであらうか所謂佛國は自由平等の國であつて只此誇りを以て世界の

▲各國に對抗 するのみである亞細亞に向つて門戶開放を要求した國が自國は是ご反對に門戶の閉鎖を明して居るが其矛盾に驚かして我が佛國領土がある諸君よ即ち東洋の人々よ須らく其我領土に行かれよ我領土の民は諸君を將た同胞こして大いに歡迎するであらう（[illegible]）

結局米伊妥協
成立か

伊國講和委員は其要求主張貫徹せざる爲め二十四日講和會議脫退を通告して歸國せりこの件に就きては今尚其筋へは何等の報道達せざる由なるも在本邦伊國大使館へは

▲同國委員 一同巴里より引揚げたりこの電報ありたり而して伊太利がヒューメ及ダルマチヤ東海岸を領有せんこの企圖を有せしは數年來の懸案にしてアドリアチック海の制海權を獲得するは軍事上產業上最も緊要事に屬し其の成否如何は同國の死活問題たるを以て同國は參戰の代償こして希望を遂ぐべく昨年十一月の對墺休戰條約成立するや逸早く兵を出してヒユーメを占領し自國軍艦をして墺國艦隊等の任に當らしめ居れるも南スラヴこの協定は極めて漠然たるものにしてヒユーメ及ダルマチヤ沿岸を伊國に於て領有するこは明確に規定しあらざるが如し而してウイルソン氏は民族

▲自決主義 により新一國家を建設すべき南スラブに對しアドリアチック海に出づべき海口ごしてヒューメを與ふべく伊國の主張に反對して降らず一の聲明書を發表せるが伊國委員も亦強硬なる態度に出で、相降らず遂に巴里を引揚ぐるに至れるなり尤も委員は本國に歸りウ氏の聲明に對し反對の聲明書を發表するに至るならん伊國に於て愈々講和會議を脫退せば同會議の進行に支障を來すべきを以て英佛側は

▲米伊兩國 を妥協せしむべく努力すべく伊國も亦食糧及石油等を海外より求めざるべからざる事情あり聯合國を疎外するは不利こする處なるべきを以てヒューメ問題に於て妥協點を見出す事困難なりこするも其他に於て何等かの協定を試み妥協するに至るべく觀測さる（東京）

人事消息

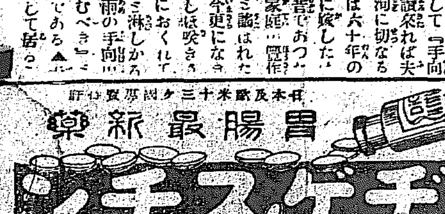
▲兒島警務總長夫人 令孃同伴卅日夜十時半南大門驛著列車にて著城將校夫人へ多數の出迎へを受け自動車にて大和町の官邸に入れり
▲淵法寺中將夫人 令息令孃同伴卅日午龍山著列車にて著龍山宮地將官外各將校夫人多數の迎へを受け直ちに官邸に入れり
▲山本留氏（滿鐵技師） 三十日夜入城天眞樓へ
▲根岸氏（鮮銀司事） 三十日退城
▲永田榮吉氏（新義州木材會社長） 三十日退城
▲新田秀吉氏（朝鮮□員） 今回□社に入り正館の興業に從事する由

鳥瞰錄

▲最近支那の內閣會議で交通總長の曹汝霖君は、若し膠州灣を接收戾しの議論が正當こすれば英の威海衞も佛の廣州灣も同樣に取返さねばならぬ▲巴里に居る支那委員が膠州灣丈けを主張するのは片手落で彼等は排日者の寄合か▲支那永遠の計からすればイザこなくば親英、親佛の雅でもある▲鎌倉こいふ時は近き日本ご遠き英佛何れか役に立つものぞこ喝破したさうだ▲處が此の曹總長の抗議も米人側から出たのだこあつては眉唾ものかも知れぬが折も折こて大分皮肉に響く▲夫人の喪中葬儀の萬端の事は朋友知己に委ねて己は訪客に接する外只管故人の追懷に耽つて居た床次內相は▲餘情禁ずる能はず終に一書を物して知己朋友の間に頒布した▲題して『手向草』ご云ふ、讀み去り讀み來れば夫人に對する君の情愛、洵に切なるものがある▲斐の惡さは六十年の不作ご云ふ、夫人の君に嫁したは花も恥ぢらふ十八歲の昔でおつたが爾來廿有九年、常に家庭の覺作を實し當代家庭の模範ご謳はれた宜なる哉である▲『今更になきものを戀ふるよりは妻におくれて斐戀しこの春は花も一しほ咲きたゝひこり暗の世なにさ淋しかるらむ』▲『ふりしきる涙の雨の手向けのみふる水をせきやこむべき』▲君が夫人への手向草である▲人ご定めて地下で感謝して居るこごだらう

日本及歐米三十ヶ國專賣特許

胃腸最新藥



食慾が進まない時に食慾を促す元氣が衰へた時に活力を與ふ貧血のものには血液を補給す精力の增進ご體質の增加を促す現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる説明書進呈 東京本町 藥種問屋 [illegible]

競爭入札購買
一石油
詳細五月一日ノ本府官報ニ在リ
朝鮮總督府遞信局

法人登記公告
揚州金融組合登記事項中變更
一、出資總口數參百七口
二、拂込タル出資總額金壹千六百五拾四圓四拾四錢但大正七年度末現在
三、大正八年四月二十五日定時總會ニ於テ左記ノ者監事ニ選任シタリ
揚州郡蘆海面上溪里參百貳拾八番地 張然哲
揚州郡柴花面緑楊里貳百七番地 韓相宇
楊州郡白石面福池里百貳拾貳番地 沈宜哲
右大正八年四月二十九日登記
京城地方法院議政府出張所

法人登記公告
龍仁金融組合登記事項中理事宋璉勳、柳世永、趙炳斗任期滿了ノ處同日各重任シタリ大正七年度末現在出資總口數九百七口拂込タル出資總額金參千壹百參拾參圓四拾參錢ト變更シタリ
右大正八年四月貳拾九日登記
京城地方法院金良場出張所

法人登記公告
長湖院金融組合（變更）
出資總口數參百貳拾七口拂込出資總額千參百九拾五圓九拾錢トアルヲ出資總口數四百參拾九口拂込出資總額貳千貳百參拾九圓四拾錢ニ變更ス但大正八年參月參拾壹日現在ニ依ル
右大正八年四月貳拾八日登記
京城地方法院利川出張所

法人登記公告
安城金融組合登記事項中出資總口數チ六百七拾八口出資總額チ參千四百拾七圓四拾六錢ト變更監事金子培、金泓、南吉祐ハ任期滿了ニ付大正八年四月拾六日定時總會ニ於テ改選重任
右大正八年四月貳拾六日登記
京城地方法院安城出張所

瑞興金融組合變更登記公告
金融組合登記事項中出資總口數チ八百參拾六口拂込ミタル出資總額チ金貳千九百貳拾壹圓六拾六錢ト變更ス
右大正八年四月貳拾八日登記
海州地方法院瑞興支廳

登記公告
市邊里金融組合登記事項中出資總口數チ四百八口、拂込ミタル出資總額チ金九百六拾參圓ト變更
右大正八年四月貳拾八日登記
海州地方法院金川出張所

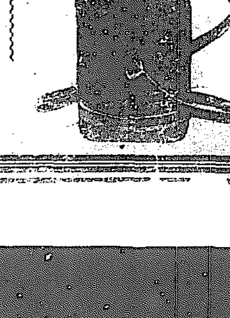
法人登記
漣川金融組合（變更）
出資總口數チ五百五拾六口ニ拂込タル出資總額チ壹千六百七拾五圓八拾六錢ト變更ス
右大正八年四月貳拾六日登記
京城地方法院漣川出張所

新石油各油卸
國旗類（大小）
大印石版
石版インキ販賣店
炭山成鏡用品
貿易雜貨商
今藤富國太郎商店
京城本町三丁目
電話長一三九〇八
振替京城一七〇二
電略（クヌハフ）

半額割戻賣出開始
及
割引

一賣出期間　五月一日より五月二十日迄二十日間
一割戻方法　地方より前金にて御注文に依り郵便小包引受局所の引受番號の末位が各五に該當せるもの（例へば十五號三十五號百二十五號等の如き）に對し郵便局所に於て添付せられたる番號票（切手貼付しあるもの）を添へ購買者より申求有次第代價の半額に相當する代理部發行の品を何品にても即時贈呈可致候
一割引方法　市內の方其他直接御來店の上御買上に對しては前記割戻の代りにすべて一割に相當する前同樣の物品を贈呈可致候
以上最も御興味ある賣出しは期限後は絕對に中止可致此好機を御利用の程願上候

保溫二十四時間
保冷四十八時間
魔法瓶
家庭旅行の必要品



定價

		製	特製本皮卷
水筒形	四合入	貳圓六拾錢	三圓二十錢
同	三合入	貳圓參拾錢	二圓八十錢
圓筒形	五合入	參圓四拾錢	三圓四十錢
同	四合入	貳圓九拾錢	二圓六十錢
同	三合入	貳圓參拾錢	二圓二十四錢

外に地方小包送料壹個に付金[illegible]
京城大平通
京城日報社代理部
電話長六〇九番
振替京城二〇〇

測量員速成講習錄
官衙及工業界に最も需要多く最も有望なるは測量技師こす本校は速成三ヶ月修了の講習生を募集す
●東京京橋區南傳馬町二丁目　通信工手學校
規則無代進呈

小學卒業立身案內

小學校を卒業した計では一人前の人間こして通用しない。されば中學校に入れぬ者でも是非共補習教育を二箇年間受ける義務がある。併し大日本國民中學會に入れば、その必要もない上に、僅一年半の間に立派に中學の全學科を學び成功活動の資格を作ることができる。現に數萬の有爲な青年が同會を卒業して社會に活動して居る。中には私立大學教授、專門學校教授、陸海軍將校、會社重役、新聞記者等も澤山ある。されば同會の講義錄について學ぶが最も得策である。新時代の青年こして立身成功したい者は東京神田駿河臺大日本國民中學會宛規則書で申込次第會則を送附する

第三期決算貸借對照表（大正八年二月廿八日現在）

負債之部　資本金五拾萬圓、法定積立金壹萬圓、別途積立金貳萬五千圓、未支拂商品代金貳萬六千九拾壹圓八拾六錢、借用金五萬圓、支拂手形拾參萬貳千貳百八拾圓參拾四錢、假受入金八千貳百參拾七圓、上海勘定貳千九百八拾參圓[illegible]、社員身元積立金九百八拾參圓[illegible]、大阪勘定貳千五百六拾貳圓七拾[illegible]錢、前期繰越金壹萬五千五百五拾[illegible]、當期純利益金七萬[illegible]、合計八拾四萬七千[illegible]

資產之部　未收入資本金貳拾五萬圓、商品[illegible]、織物部勘定[illegible]、小賣部勘定[illegible]、未收入商品代金七萬[illegible]、郵便振替貯金[illegible]、假出金[illegible]、什器[illegible]、現金在高四千[illegible]、合計八拾四萬七千[illegible]

損益計算書　總損金[illegible]、總益金[illegible]、當期純利益金[illegible]

法定積立金[illegible]、別途積立金[illegible]、賞與金及交際費[illegible]、配當金[illegible]、後期繰越金[illegible]

右ノ通リニ候也
前記各項ノ調査ヲ遂ケ其ノ正確ナルヲ保證ス
大正八年四月廿八日
大昌貿易株式會社
監査役　趙鎭[illegible]

○問題のヒューメ港
アドリヤチツク海の關鍵　戰略上歷史上から見て伊國の要求は無理でない

伊太利講和委員が聯盟を脱退して迄其領有を主張した問題の港ヒューメとは果して何んな處であらうか某外國通は語る「ヒューメはアドリアチツク海を挾みて伊太利の對岸なるクヮーネル灣の奥深き正面を占むる匈牙利唯一の港で墺地利の要港トリエストよりは鐵路七十哩位で達せられ人口は僅に五萬位しか無いが一箇年の輸出總額約七千萬圓と云はれる

△匈牙利に はなくてならぬ物の一つで紙、毒、化學工藝品の製造が夥しく石油の製精所や海軍兵學校等もある、伊國が此處を飽迄も領有せんければならぬと主張するには同情す可き戰略上、歷史上よりとの二理由が存し單純なる領土慾では絶對にない、第一戰略上よりすると伊太利としてはアドリアチツク海の對岸が敵の領有する所となる同海の

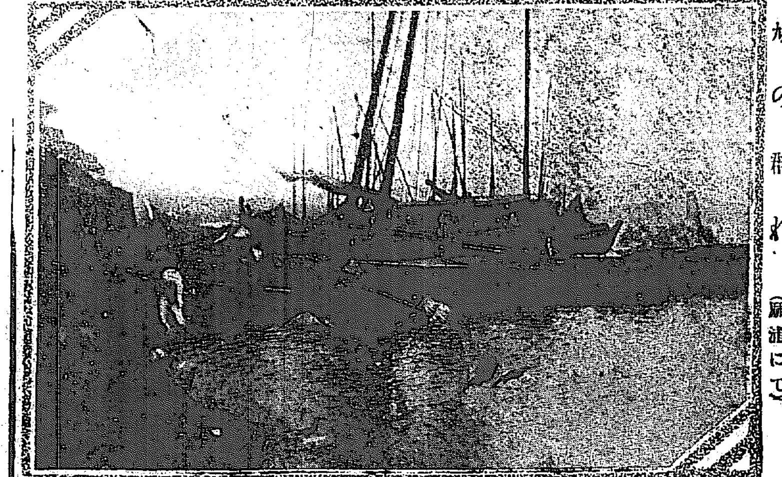
△制海權も 自と敵の掌中に歸する事となり正しく死活に關する重大なる問題で從來も屢々之が爲伊太利は墺地利に脅かされて來たのであるから伊太利のアドリアチツク海の制海權を自分の手に收めやうとする希望は實に一朝一夕ではなかつたのである而して今日墺地利こそ瓦解したが代つてダルマチヤ沿岸にユーゴースラヴと云ふ

△眼上の瘤 とも云ふ可き新建設國が現はれて見れば伊太利のアドリアチツク海を手に收めなければならないとの必要は尚ほ益々加はるばかりである殊にアドリアチツク海の潮流は北東から西南し伊太利沿岸に向つて流る關係上水雷艇等にて伊太利沿岸は攻むるに易く

△守るに難 い處なのだからアドリアチツク海對岸に根據地を得んとするは戰略上眞に無理からぬ事で夫には自國沿岸にベニスの外港らしい港を一つも持たない伊太利としてはヒユーメこそ最も適當なる箇所なのである、又歷史上よりしてもヒューメは中古時代には

△伊太利が トレンチノ、トリエスト、エストニア、ダルマシヤ沿岸一帶の地と一緒に領有して居た處で佛蘭西がアルサス、ロレーンを恢復したと同樣の見解よりすれば當然伊太利の手に歸さなければならぬと云ふのが公平な所認であらう而して伊太利が這般の大戰に聯合國側に未方して奮起したと云ふのも實は一九一五年四月二十六日の

△倫敦密約 に依つて英佛露より其の保證を與へられたが爲であれば益々ヒユーメは伊太利の是非とも手に收めなければ承知されない處であらう」



鳩の群れ（麻浦にて）

○悲しき卒哭祭
李王殿下以下最後の慟哭

廿九日は故李太王殿下薨去百日に相當するより德壽宮内に於て御服喪中の李王殿下には李堈公殿下外各御親戚宗族並に李王職各高等官五十餘名と共に雨そぼ降る同日午後九時より魂殿に於て哭き納むる卒哭祭を施行せられたり祭場正面の

◇魂殿 には種々の供へ物あり四本苑祭壇の左右に立られたる五十匁蠟燭の燈火風に搖きにゆらゆらと揺らぎて物悲しく聽て喪服を召されし李王以下には靜々と魂殿の前に進み給ひ自ら香を焚き御酒を獻じて四拜の禮を擧げられ次に李堈殿下又同じくせられ李侯爵以下何れも

◇四拜 の禮を終へ特に設けられたる祝文燒拂場に於て祝文を燒き捨て同十時式は閉ぢられたるが此の間李王殿下を始め何れも慟哭あり魂殿の横に設けられたる妃殿下以下三四十人の女官席よりも慟哭の聲瀕りに漏れたり式後李王殿下には德弘殿に於て參列者一同に親しく

◇接見 せられ深更寢に就かせられたるが一日は午前十時德壽宮出門金谷里御墓所に參拜午後三時環宮相成る由尚殿下には卒哭祭を以て愈々弔哭の終りとせられ近日中に昌德宮に還宮相成るべき旨申出されたりと

○李王殿下御墓參
本日金谷へ

李王殿下には今一日午前十時三十分德壽宮御出門、閔長官國分次官以下李王職高等官等を隨へられ馬車にて順路を金谷里へ御成りあり李太王殿下の御墓所へ御參拜の上午後三時德壽宮へ御歸還相成るべし

○竹田宮殿下御葬儀遙拜式
南山絶頂にて擧行

谷村京城神社々司、佐々木工業專門學校教授、渡邊高等女學校教諭等國學院大學出身者發起となり三十日午後四時卅分より南山絶頂に於て竹田宮殿下御葬祭遙拜式を擧行したるが官民多數の參列あり頗る盛大なりき

○王世子御參列
竹田宮御葬儀

故竹田宮殿下の御葬儀に際し李王世子殿下は李王殿下御代拜を兼ね參列相成りたり尚ほ李堈公李鍝公兩殿下の御代拜として李王世子附嚴賓侍參列申上げたりと

○種痘を勵行せよ
不善感の者は油斷すな　赤ん坊が一番危險

本町署では愈々今一日から種痘を施行する筈であるが天然痘の盛んに流行して居る折柄某醫師は語つて曰く

◇天然痘は 突然三十九度、四十度位の高熱を發するかと思ふと頭痛がし食物が不味なり身體の節々が劇く痛むと云つた樣な症狀を呈して來るが殊に腰の烈しく痛むのが其の特徴で傳染後一日か二日目には前驅疹と云つて痲疹の樣な少し赤みがゝつた小さい發疹が下腹部股の邊腋の下等に出て四日目位には

◇其發疹が 一旦消失する代りに愈々天然痘で恐ろしい發痘が顏面や手足の先等に現はれ夫れと同時に熱が一旦下降するが九日目位になると其の豆（發痘）が愈々膿を持つ樣になり熱も化膿熱となつて俄に上り敗血症（血を腐らす症狀）心臟衰弱等を誘致してバタ〳〵と患者を斃す此時期が天然痘の

◇最も危險 の多い時で夫から十二三日目位からは熱も漸次下り豆は痘皮を作り初め十六日目位からは其の痘皮が落ち初めて癒る患者なれば三四週間もしてから全快するのが普通の經過である此の經過の中素人の一番過り易いのは發痘の際熱が一旦下るのだからヤレ〳〵と安心したり又前驅疹の際にも

◇痲疹だ位 に思つて手後れとなつた者等も隨分多いから注意せねばならぬ、夫れで一般素人ならば急に高熱を發し腰骨が甚く痛む樣な事があれば即時醫師に診察して貰ふのが一番である、併し此天然痘は種痘さへ嚴重にやれば絶對に罹らないものである併し

◇免疫効力 を持つ樣に種痘は素人では一回やると何時迄も罹らない樣に誤解してゐる者もあるらしいが種痘は一回の効力は五箇年と云はれて居るから不善感の場合だと昨年やつたと云ふ者でも今年は再びやる必要があるのである、此天然痘は患者發生の地の周圍二町位は空氣傳染をする殊に一回も種痘した事のない

◇赤ん坊は 感染の一番危險な状態にあるのだから各自が種痘を勵行すると共に子を持つ親は此の兒は生れてまだ五六十日さへも經ちませんからとか風邪を引いて居るとかの理由で子供の種痘を避ける樣なそんな場合にも假へ一個でもよいから種痘する樣にせねばならぬ

○平壤神社春季大祭
本年は特に盛大に執行

平壤神社の春季大祭は例年の如く四月三十日午後六時より本社に於て前夜祭を執行し同八時より更に櫻町櫻神社にて同樣前夜祭を執行したる上五月一日より二日に亘り盛大に執行さるべく午後一時より本社にて例祭を行ひ二時より神輿渡御あり其御道筋は

平元道路を直行南門通一を大和町、本町、黄金町、八千代町を通過瑞氣通幸町附近を經て陸軍官舎構内及停車場附近巡幸の上黄金町より右折左折し櫻町へ櫻神社へ著御當日駐輿祭執行日午後六時より櫻神社に於て祭典執行翌二日午後一時、櫻神社發輿櫻町より左へ瑞氣通を右へ旭町元中、堂角より泉町、山手町を經て道廳前より旭町左折諸町へ瑞氣通左へ港町左へ諸町を經て警察署前を右へ江岸に出て大同門より左へ南門通を經て還御、六時還御祭を執行さるゝ筈なり

▲全市沸かん 本年は例の騷擾事件にて人氣消沈せる折柄なれば之が振興策として例年以上盛大に執行せんとの意氣込みにて各町吾劣らじと裝飾を施し餘興の準備に忙殺されたるが就中大和町に於ては道路通りに大緑門を設け各區毎には五百燭光の電燈を點し尚餘興で計畫中なりし兩側の街燈を一齊に點火すべく同時に例年の如く大屋臺を曳出し毘沙門天王をも擔ぎ出す筈其他南門、南門町、城内等何れも屋臺に地囃を入れ市中を練り廻る計畫なれば二日間は非常の盛況を呈すべく夜は不夜城の壯觀を現出すべし（平壤）

○安東の招魂祭
盛大を極む

三十日午前十時より安東縣鎭江山表忠碑前に於て奉季招魂祭を執行す先づ神式祭典に次ぎ各宗僧侶の讀經にて式を了れるが祭主森領事、分會以下團體の參拜あり參列者は守備隊、憲兵分隊、警察、小學校遺族總代、文武官總代、在郷軍人地方官民數百名にて頗る盛典なりし此日天氣晴朗鎭江山の櫻は三分方開き人出多數なりき（安東特電）

○米三千餘石燒く
安東の精米所倉庫の火災

二十九日午前八時十五分安東商業會議所會頭馬場嘉藏氏經營の精米所より發火し倉庫三百坪の他穀物玄米、白米三千餘石を燒失し同十時二十分鎭火せるが損害見込約二十五萬圓にして火災保險には八萬圓附しありたり（安東特電）

○政治的妄想狂
兵隊一人持たぬ陸相も居る（某當局談）

勿論鮮人一般ではない、否其一部と言うても極めて少數の者に相違ないが鮮人中には政治的妄想狂に罹つて居る者が少くない、之は他の誇大妄想狂と同じ事で

▽腦の細胞 に異狀を來して居るに相違ないが外人から見れば平常の人の通りに見ゆるので之を病人視せずに居る、けれども其言動は確かに狂人と言ふの外はないので外出者として大いに注意を要する譯である過日の騷擾中にもやれ巴里から電信が來たとか

▽維耳遜氏 が飛行機で京城に來るとか講和委員が朝鮮視察に出掛けたとか、固より之は煽動虚報する者の罪であるが輕々之を信ずると言ふことは如何にも幼稚不合理な話で平素妄想狂の素質を有して居るからである、在外鮮人中には殊に此種の重患者が散在して居るので彼等は布哇や米國や上海に放浪して居ながら

▽假政府を 組織した積りで安昌浩は大統領とか李承晩は總理大臣とか兵隊の一人もない陸軍大臣や軍艦一隻もない海軍大臣も任命されて居る假政府は成立しても定まつた場所もなく幽靈的に政令を公布した抔と稱して已に秘密出版物も散らばつて居るが此等は妄想狂も頗る手重い方である

▽又鮮內に 居る妄想狂者も少くないので時々內地や朝鮮の大官等に信書を送つて或は近々日本人の總てを追放し又は鏖殺して朝鮮皇帝になるとか大統領になるとか言うて居る、勿論此等は狂人の狂言奇語と言ふべきであつて何等世道人心に害もない樣だが其狂者たるを知つて居らぬと

▽意外の過 を生ぜぬとも限らんから政治的にも醫學上にも大いに注意を要する次第である

○大邱山十組の職工百餘名
傳染病に襲はる　多分腸窒扶斯か　囑託醫失態の聲高し

大邱府東雲町山十組製絲工場にては數日前より主任小口氏を始め其他事務員及職工等二三十名一時に發熱し爲めに何れも山十組囑託醫元町一丁目江崎病院々主江崎氏の治療を受けしに江崎氏は之を流行性感冒と診斷し其心算にて治療を施しつゝありしに患者は日々猛烈の勢ひを以て增加し最早百名餘を算するに至り醫師の江崎氏又同病に罹りしより詮方なく市田醫學士及び鮮醫好生堂病院主の來診を受けしに何れも腸窒扶斯の疑ひあり又大觀病院院主越智氏は之を檢診して窒扶斯と診斷し果して何れが眞か判明せざる爲め目下慈惠病院より松本院長其他醫員出張診察中なるが何れにせよ傳染病たるは疑ひなきものゝ如し然るに斯く多數の患者を出す迄警察署への報告を怠り且何等豫防設備をなさざりしは確かに囑託醫の失態なりとの聲高し

○日本兵慘殺
加害者は露人

去る二十三日我スーチャン守備に屬する上等兵飯田五郎、一等卒和田新松の二名は同所十番炭坑夫不穩の爲め偵察に赴きたる儘夜に出るも歸隊せず翌二十四日午前附近谷間に慘死體となりて横はれるを發見せり附近鮮人の談に依れば二名は十數名の露人に依つて殺害されたるものにして露人等は直にノウオイッカヤ方面に遁れたりと尚ほ同地守備の米軍は之に對し應の兵を派して我に多大の便宜を與へたりと（浦鹽）

○昌慶苑は近く開放

閉鎖中の昌慶苑は李王殿下の昌德宮御還宮を俟つて開苑する事に決せるが李王殿下には既に卒哭祭も終はられたるに付茲旬日中には御還宮相成るべしと

○鴨綠江の馬賊
討伐隊派遣

鴨綠江上流各縣に約三百名より成る馬賊の大團頻りに蜂起し武器を攜へ商家を襲ひ掠奪を擅にしつゝあるに就き通化縣駐剳右路巡捕第四營長三百名の部下を率ゐて討伐に向ひたる旨臨江縣警察探偵長より支那官憲に急報達せり（安東特電）

○二萬圓の約手を僞造して
土地を買ふ

市內橋南洞四十七番地前科一犯朴顯□（三二）は元相當の財產を有し居たるも酒色に身を持ち崩したる爲め無一文となり其後は土地仲介を爲し居たるが去十五日貫鐵洞李源備なる者より江華島所在の土地を一萬千五百圓にて買受る契約を爲し擔保として金甲淳振出し漢城銀行專務韓相龍氏裏書同行水原支店長韓相鳳及び金聖默兩人の裏書せる二萬三千五百圓の約束手形を渡して權利證書を受取り此證書を以て直ちに登記の手續を濟まし更に之を低當として內地人某より三萬圓の金を借出さんと目論見中十九日に至り李源備が右約手の支拂期限に關し裏書人韓相鳳氏に照會したる事より端なくも右約手の僞造なる事判明し朴は即時鐘路署に引致されたるが取調の末身柄は三十日一件書類と共に檢事局に送られたり

○出物決まる
舞踊劇と二黄劇

◇梅蘭芳一行の帝劇に於ける第一回の出物は協議の上來月一日より五日までは舞踊劇『天女散花』同六日より八日までは二黄劇『御碑亭』同九日十日の兩日は舞踊劇『黛玉葬花』の三種を上演する事に決定したるが

◇『天女散花』は天女が如來の迎へを受けて花を散らしつゝある姑摩の病を見舞ふと言ふ佛敎思想を舞踊化せるもの『御碑亭』は所謂古今奇觀の劇にして夫婦の關係を取扱へるに至つて興味深きもの

◇『黛玉葬花』は稗史『紅樓夢』に出で黛玉と言ふ佳人が花を葬らひて春の日の愛愁を行ふものなりと言ふ（東京）

○悲觀して投身

四月廿九日午後二時三十分頃仁川府松峴里五十七番地の海岸に投身自殺したる鮮人あり松峴里九十七番地勞働金寶玉と云ひ本月二十日頃より病氣に罹りしも家計豐ならず治療も出來ざるより悲觀の餘り自殺を計りたるものなるべしと

○招魂祭延期

四月三十日擧行の豫定なりし奉天招魂祭は故竹田宮殿下の御葬儀當日に相當するより特に御遠慮申上げ五月一日を以て擧行するに決せり（奉天）

演藝

…▲二代目雲を聽く 三十日午後一時から黄金館で二代目雲右衛門の試演會が催された、聽き手は後援者たるサクラビールの販店、新聞記者などで約四百名、前座二人が濟むと森脇天涯氏が現はれて朝野の名士六十餘名が二代目雲の後援者となつた理由を述べ、次いで待ち設けた雲右衛門が頑丈な姿を現はした、語る物は『大石山鹿護送』と云ふ先代得意の一節、約一時間ばかり語り續けたが流石は雲を名乘るだけに節廻しと云ひ語口と云ひ抑々見上げたものである、聲はまだ先代程澁くないが可成り艶もあり節廻も妙なやうだ、二代目雲と云ふのは以前にも來た事があるけれど、是は以前のとは全く別物で、今度來た雲とは到底比較にならない、然し今度の雲はまた何んと云つても年齒が若い、是からが花である、小成に安んぜずお調子に乘らず常に修養を怠らなかつたならば、夫こそ雲右衛門の後繼者として恥しからぬ者となるであらう。

▲黄金館 一日より二代目雲一行の浪花節にて開演主なる語物左の如し▲武藝の花（雲昇）▲水府公（雲嶂）▲南部坂雪の別れ、中山安兵衛（雲右衛門）

◀サクラビール後援▶

尊皇愛國武士道鼓吹、朝野名士六十餘名の後援に依り堂々出演
二代目 桃中軒雲右衛門
後援者を代表して特に森脇天涯氏を請ひ後援に關する趣旨演説を煩はす
五月一日より五日間每夜正六時開演
於 黄金館
主催 雲後援會
御注意 從來二代目雲右を名乘りて來りし者とは全然別人に有之候

雲後援者
尾崎行雄　箕浦勝人　若槻禮次郎　島田三郎　拓殖局長官法學士古賀廉造　頭山滿
政治家松村雄之進　代議士大竹貫一　代議士小泉又次郎　代議士望月小太郎　代議士高木益太郎
政友會幹事長代議士望月圭介　代議士前川虎造　元參政官代議士岡部次郎　元參政官代議士幹事長關和知　元參政官代議士田中善立

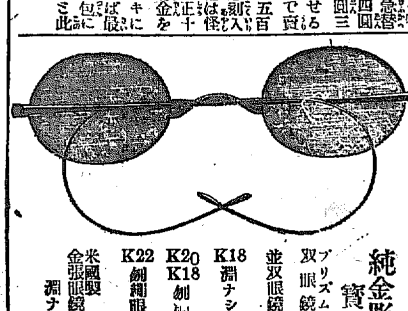
初日讀物
神崎の生立　桃中軒雲吉
倉橋傳助　桃中軒雲昇
不破數右衛門　桃中軒雲□
吉岡兼房　桃中軒雲龍
乃木將軍　桃中軒雲洲
武藝の花　桃中軒蘇峰
水府公　桃中軒雲嶂
南部坂雪の別れ 中山安兵衛　雲右衛門

正十八金が間違つたら 百圓進呈

セル　彫刻入 正十八金

正眞正銘の十八金指輪を吝まず進呈する國產セルの賣出し今や毛織物の大騰貴につれてセル地も一反十六七圓以上の高價を示し一般需要者の平常著としては高すぎるそこで東京京橋區銀座四丁目廿番地ミヅホ商店セル部に於て本年國產セル數千反を特約したるが緊急金の必要上乙四圓五十錢甲五圓三十錢特上五圓九十錢と云ふ素敵な値段の半値にも足らぬ馬鹿値段で賣出しおまけに景品として前記五百人限り正十八金（保險付）彫刻入り金指輪一個添呈す因に此指輪は怪しいメッキ等でなく正眞正銘の正十八金製にて間違へば百圓の罰金を出す由依つて希望の方はハガキに男女年齡を記し同店宛申込めば最新柄を見本として景品を添へ小包にて送品し不向のときは返金すと此好機を逸せず早く申込を願む

東京六櫻社製 石版インキ各種
東京求林堂製 石版インキ各種
東京櫻井製 活版名刺カード各種
朝鮮一手特約店
京城府南大門通り二丁目
堀井膽寫堂京城出張所
電話長四〇一・二番 振替京城一〇五八番
見本帳無代進呈



純金彫刻入寶石入指環品揃
プリズム双眼鏡 四拾五圓より百四拾圓迄種々
並双眼鏡 甲十五圓 乙十圓
K18 淵ナシ眼鏡 十五圓以上
K20 K18 側眼鏡 十七圓以上
K22 側鋼眼鏡 十八圓以上
米國製金張眼鏡 甲五圓 乙三圓五十錢 丙二圓五十錢 淵ナシ穴明用四圓
□金銀懷中時計品揃 實用萬年ペン品揃□
定價表進呈仕る可候
京城本町二丁目 中村眼鏡店 振替 電話

みだれ咲き

第十四回

島山碧波作　森田久畫

庭番の次郎吉爺さんから、」意味在り氣の一語を浴びせられた小間使のお春はギョッとして相手の顔を眺めて居た。

『お春坊……』ニヤ〳〵笑つて身を擦り寄せた次郎吉は。

『野郎が阿魔に彈かれるのは在り勝の事だが、阿魔が野郎に肱鐵を喰ふのは餘り格好が良く無いぜ』

一癖在り氣の面魂、斯う云つてお春に冷笑を浴びせる次郎吉爺さんの過去には、叩けば黒い塵埃の立つ歴史があらう、年こそ老つたれ其過去の歴史を赤裸々に告白さしたら傳馬町の初牢に、牢名主の極め板を笑つて受けたこともありさうであつた。

『爺やさん、お前さん知つて居たのですか』

ニッコリ笑つたお春は、隱しても詮無きこと、思つたのか、次郎吉爺さんに向つて穩かに訊した。

『一から六まで聽いて居たよ』

『まア左樣なの私何だか耻かしいわね』

『餘り耻かしい御人體でも無いね、然し坊お前本當に牧野を何にして居るのか、夫とも一時の氣紛れで浮氣をするのか、お前の返答次第で俺は出雲の神樣に成つて遣るぜ』

斯う云つてお春の面を熟視した次郎吉爺さんの心の内に何か一物があるらしい。

『私、あの……』

鐵面皮の婦人でもまだ年は二十を越ねて居ない、流石に次郎吉爺さんの前が耻かしいのか嬌ある面を眞赤にした。

『判つた、俺も若い内に婦人を泣かして來た罪滅ぼしに牧野をお前に取持つてやらう』

『あら本當ですか』

お春が嬉しさの餘り大きな聲を出すと。

『誰れが嘘を吐くもんか、お前だつて俺だつて今の奥さんには人一倍お世話になつて居るから、いはば味方やねわか、是れが若い時なら俺が、お前の袖を曳くのだが斯う爺さんになつては色氣よりも慾氣だい、頼むと云ふなら一と骨折つてやるぜ』

『どうかお願ひ申します、』どうやらお孃さんが牧野さんに思召があるやうですが、私も一旦斯うと思つた男ですから幾ら御主人でもお孃さんに奪られるのを指を咬へて見て居たくありませんわ』

戀に多少の常識を失つて居るお春は、僞らざる告白をして次郎吉爺さんの前へ頭を下げた。

『然し魚心あれば水心で俺の頼みを聽いて呉れるだらうな』

次郎吉爺さんの双眼は怪しく光つた。

『私に出來ることなら何んでもするわ』

何氣無く答へて居るが、心の内には大なる不安があつた、今日まで律義一遍の正直爺さんとのみ信じて居た次郎吉が、斯うして氣味惡いことを云ふのであるから、浮氣者のお春も、胸裡に多少の不安を感じるのであつた。

『出來ることだ』と、云つた次郎吉は再び母屋の方へ氣を配るとお春の耳許で何か囁いた。

『まア……』流石のお春も暫し呆氣に取られて次郎吉の面を瞶めた。

『厭やか、厭やなら厭やとキッパリ返辭をしな』

如何なることをお春に打ち明けたのか、次郎吉爺さんも無理に勸めようとはしなかつた。

『厭やと云ふことは在りませんが旨く行くかしら』

『旨く行く行かぬはお前の腕一つだ、俺は確に左樣と睨んで居るから腕へ撚り掛けて遣つて呉んな、其の代りに牧野はきつとお前の亭主にしてやる』

お春は帯の間に兩手を入れたまゝで深い考へに沈んで居たが

『一つやつて見ませう、旨く行けば私も出世が出來るんだから』

お春の面には決心の色が浮かんだ、庭番の次郎吉は如何なることをお春に頼んだのであらう。

日報歌壇

○松靜うれよりうれへわたりゆくかそけき風の音聞ゆなり　松本 輝華

○ふくよかに櫻香ひて山あひに春告げ鳥の來りなく朝　益田 赤果

○あきらめてなげくまじとは思へども涙ぞ誘ふ春の夕ぐれ　さざれなみ

○病める身を丘に運びて痛々し吾が頭にてるその若葉にも　上野 榮

○雨降るさ玻璃の戸ごしに眺めやる庭の芝の芽少しのびたり　ふみ子

○ 幸治郎

支那船のマストになびく赤き旗ゆたかに見ゆる春のひろかな

支那人の荷揚の群ののんびりと春の潮を滑りて聞ゆ

○ 貝谷 砂口

またきらふ光のなかに千鮮ゆよべ降りし雨雫こぼれたり

兩手ゆるく伸びてすべりおつその水玉のひなたの匂ひ

魚市のあさのそここゝにおちゝれるうす冷たき鱗のひかり

○ 遊者

何事か吾星やさりかへしのつかぬことゝ思ばれてならぬ夕べなるかも

新刊紹介

▼鶴岡一覽　大正八年一月一日現在の調査にして、各道の鎭區を分類摘錄す(總督府發行)

▼海外旅行調査報告　大正六年中神戸高商學生が、視察調査せる所を集錄せるもの、巡歷地は東洋各地を始め米國に及ぶ(神戸高等商業學校發行)

▼滿蒙研究彙報(一七)　英國の對支那羊毛、皮、山羊毛等に關する研究、滿蒙工業中心時代等讀むべき記事多し(定價卅錢發行所乃木町滿蒙研究會)

家庭用紋り機械 各種荷著!! 並に圖案及附屬品 金銀粉染料品揃 京城本町二丁目三番地 ミツワ販賣所 家庭藥 木下藥房 振替京城一五四〇番 電話長九一三八番

本劑は各病院醫大家諸君の御賞用を辱ふせる理想的淋病新劑なり…

ゲンノショウコエキス

藥價 百五十錢 一圓六十錢 十五(十日分) 六十錢 試用 各三十錢 二十錢

京城若草町(新道路) 本舗 東洋藥房 電話 三一一八番 振替京城一二九九四番

京日案内

普通 一回前金七拾錢 番外 一回前金(一回)(二拾錢增) ▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戻 ▲六回以上の御申込は特に壹割引のこと ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

番外

ゴム玩具大賣出 △定價表御入用の方へは無料郵送 京城太平通二 太陽ゴム商會 電話一二六〇六

◉看護婦募集 多忙 派出 京城霽町九 京城看護婦會 電話一弐八八

◉外勤社員招聘 高給 希望者履歷書携帶來談地方は送れ 京城黄金町貳丁目 共保生命出張所長有馬部香夫

年金恩給 低利長期五ケ年 判息前引なし 即時御立替 ▲京城永樂町二丁目 西本願寺表門入 江州屋本店

夜學生徒募集 ◎英語科 ABCD各級 鍾路入南大門通り一丁目 京城青年會

看護婦及見習募集 希望者至急履歷書携帶乞來院 京城明治町一 電話一四番 贊化病院

◉雇被度し 但多年 年齡三十九歲 貿易商に經驗有り 御報次第參上仕可候 (姓名在社)

書生及看護婦募集 京城長谷川町七五 電話六七五番 松岡醫院

△籠買 求資 有利 毎戸に必用なる國旗袋製造專賣業 今般擴張に付資金千圓出資共同者を求む 委細面談 京城黄金町三ノ二九一 實踐大道社

集金 外交員募集 府内の事情に通じ且外交に巧なる者希望者履歷書持參午前中本人來談 長谷川町七六 京城殖産會

乘馬一頭買受度し (姓名在社)

齒科看護婦入用 年齡十七八歲より二十歲位まで 希望の者は申込あれ 平壤 岡 齒科醫院

無限軌道(說明書贈呈 郵券三錢) 普通道路勞力半減 惡道坂路三倍ノ効力 道路保護 牛馬虐待防止 無限軌道販賣所 龍山驛前電車通

外勤社員招聘 月給付 優待す 商品月賦販賣報國公債 朝鮮支部 京城若草町一〇六 電話三千十一

東京日本橋通四 大阪心齋橋筋本町 有田ドラッグ

三休橋 大阪市 有田ドラッグ 進呈

りん病 ばい毒 (諸料無料 讀者特待(?))

◉淋病藥主藥は治淋劑とし梅毒藥主藥は驅梅内服藥とし醫學上最有効と確定し歐米醫科大學國大學病院等にて賞揚配劑し高貴藥なるを保證する若し前述の證言に違ふ事を發見せる時は分析料百圓進呈

◉あらゆる治療をあらゆる患者に試すも一度も効なき… 來談あれ

にせ物あり 大阪有田 取あれ 藥を買

京城南大門外停車場通 有田ドラッグ滿鮮本部

京城黄金町三丁目電車通 有田ドラッグ 長電話二八三三番

龍山練兵場前 支店 釜山大廳町三丁目 支店 元山本町三丁目 支店 平壤櫻町十二番地 支店 仁川宮町二丁目 支店 大連岩代町 支店 有田ドラッグ

◉朝鮮のにせ物 京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり瞞着せられざる樣御注意を乞ふ

請合藥舖他藥店に販賣不許 (全國の都市に支店あり)

有田ドラッグ

◉機械疊 掛縫床 床製造販賣 本品特色 (上等中等品に限り) 疊表種類各種 右各種共成行相場にて多少に不拘御用命被下度奉待候 龍山元町二の五九 電話五一八 佐々木商會疊部

優良化粧用 アカシヤ石鹸 ACACIA SOAP 大連 萬玉洋行

味噌の横綱 ほまれ味噌

醇良無双清酒

衛生無害品質無双

發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一七一一番

釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

ホーカー白粉の評判は

高く高く天まで高いと唄はれるまで高く有名となつて居ります、それは高貴原料が善く精選され品質極めて優秀な爲めで誰人の肌にも合致申分なく合ふからで御座います

氣高い自慢の白さに塗く

婚禮用白粉として評判高き

高貴御料 ホーカー白粉

あがるあがる
天まであがる

美くしい

こはホーカー白粉でお化粧した姿の事を云ふこまでその御化粧姿は何となく品がある中に得も云はれぬ艷麗さを見せますそれは本舗試驗部が苦心の結果在來の白粉の性質を全く改善して飽まで日本婦人に適する樣製造されてあるからです其上ホーカー白粉は洗つた後の素顔まで白く晴衣の襟を汚さぬといふ特色があります

定價 一瓶 金二十五錢
送料 内地無料滿鮮卅錢

◆白さが特に美しい ◆著物の襟を汚さない
◆ノリノビ申し分なし ◆素顔の色艷を好くす
◆肌アレを完全に防ぎ ◆匂好く艷麗を增す

◆全國到る處の小間物化粧品店洋品店等に販賣す若し品切の際は本舗直接振替か又は三錢切手代用にて御注文あれ

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液 ホーカースナート

東京神田和泉橋際 本舗 堀越嘉太郎商店 電話神田特一四三、長一四四、一四五 振替口座東京一五六